

Panasonic

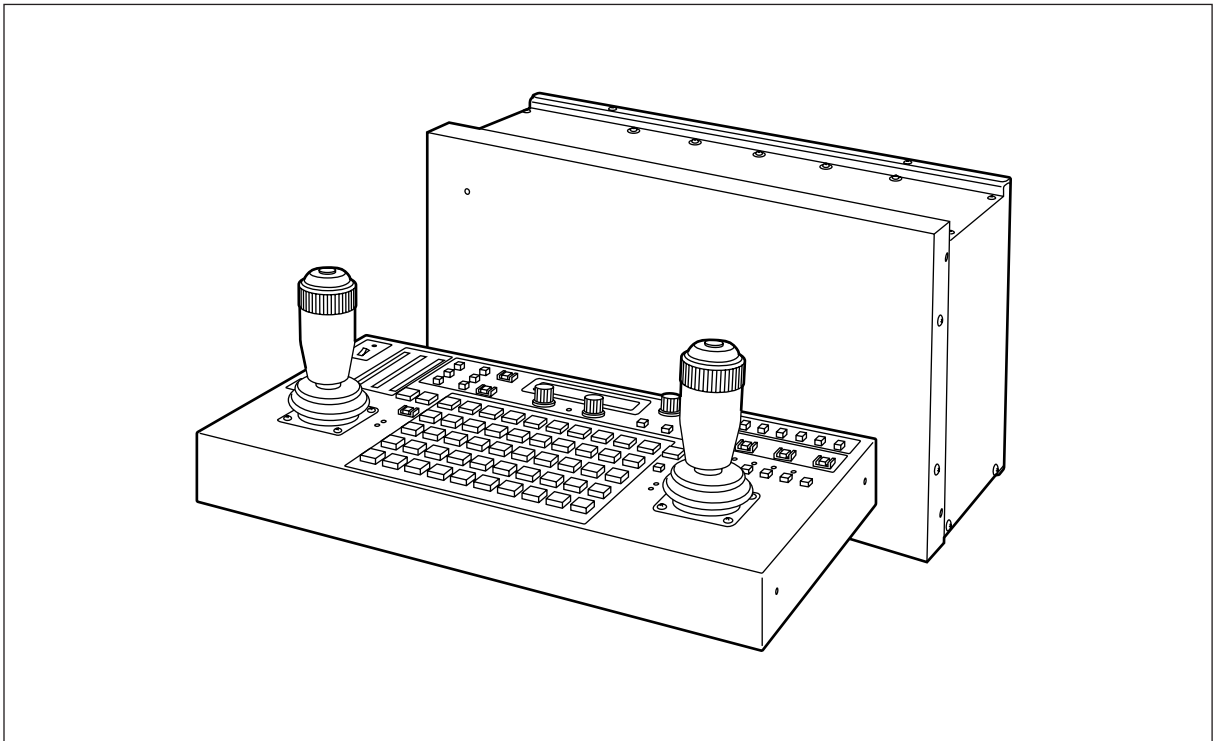
マルチファンクションコントローラー 取扱説明書

品番 **AW-RP605**

保証書別添付

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、お受け取りください。

製造番号は、品質管理上重要なものです。お買い上げの際は、製品本体と保証書の製造番号をお確かめください。



ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと大切に保管し、わからないときは再読してください。

目次

概要	2	トータルペダスタルの調整	32
付属品	2	ホワイトバランスの調整	33
安全上のご注意	3	ブラックバランスの調整	34
各部の名称と働き	8	トレーシングメモリーの設定	35
コントロールパネル	8	プリセットメモリーの設定	39
メインユニット	16	設定メニュー	40
接続	20	ビデオボードの増設	45
操作手順	24	オプションカードの挿入	45
電源の投入	24	ラックマウント金具の取り付け	46
回転台の可動範囲（リミッター）の設定	24	消耗品の交換	46
映像信号の設定	25	保証とアフターサービス	47
映像信号のケーブル補償	26	定格	48
ゲンロック調整	29		

概要

- 本機は、回転台システム（回転台とコンバーチブルカメラ）を制御すると同時に、映像信号のケーブル補償も行う、マルチファンクションコントローラーです。信号処理を行うメインユニットと回転台システムを操作するコントロールパネルで構成され、付属の接続ケーブル（10m）1本で接続できます。
- メインユニットには、コントロールパネルを3台まで接続することができます。接続には、コントロールパネルに付属のケーブルや10BASE-Tストレートケーブル（UTP カテゴリー5）を使用します。コントロールパネルには、インカム（Inter Communication）用のヘッドセットが接続でき、コントロールパネル間での交信を行うことができます。
- メインユニットには、回転台システムが5台まで接続でき、コンポジットシステムやコンポーネントシステムに対応できます。ただし、コンポーネントシステムに対応する場合は、コンバーチブルカメラにRGBカードAW-PB302（別売品）を搭載する必要があります。
- 回転台としてAW-PH350を使用する場合、メインユニットと回転台システムとの接続は、最大1000mまで延長できます。他の回転台を使用する場合は、800mまで延長できます。

対応回転台

AW-PH300、AW-PH300A、AW-PH350、AW-PH500、AW-PH600

<ノート>

AW-PH500を使用したときは、カメラを制御することができません。

付属品

接続ケーブル（10m）	1	ラックアングル（5U）	4
インカムヘッドセット用プラグ（M6）	1	取り付けネジ（M4 × 8）	8
インカムシステム用プラグ（MINI DIN 6ピン）	1		



電源には、専用のACアダプターAW-PS505（別売品）を使用してください。AW-PS505を電源に使用した場合は、本機に別売のビデオボードAW-PB605を4枚増設することができ、計5枚のビデオボードを使用することができます。ただし、オプションカードを搭載する場合など、本機を含めた総電力が30Wを越える場合は、ACアダプターAJ-B75（別売品）を使用してください。

安全上のご注意




必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

設置について

警告

■不安定な場所に置かない!



禁止

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。

■ケーブルに重いものを載せない!



禁止

本機の下敷きにならないよう注意してください。ケーブルが傷ついて、火災・感電を起こすおそれがあります。

■水場に設置しない!



水場使用禁止

火災・感電の原因となります。

安全上のご注意

必ずお守りください

設置について

警告

■ぬれた手で、ケーブルの抜き差しはしない！



感電の原因となります。

禁止

■付属品・オプションは、指定の製品を使用する！



本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こすおそれがあります。

使用方法について

警告

■水場で使用しない！



水場使用禁止

火災・感電の原因となります。

■本機の上に水の入った容器、小さな金属物を置かない！



禁止

本機内部にはいると、故障や事故を起こすおそれがあります。

■コードが破損するようなことはしない！

傷つけたり、加工したり、高温部に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない！

■機器が濡れたり、水が入らないようにする！



禁止

火災・感電のおそれがあります。
雨天・降雪・海岸・水辺での使用は、特にご注意ください。

■機器の開口部から異物を差し込んだり、落としたりしない！



禁止

火災・感電のおそれがあります。



禁止

傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店に、ご相談ください。

■本機を改造しない！



分解禁止

火災・感電の原因となります。

■本機の裏ぶた・キャビネット・カバーなどを外さない！



分解禁止

感電の原因となります。

- 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店に、ご依頼ください。

■指定のカバー以外は、外さない！



分解禁止

感電の原因となります。

- 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店に、ご依頼ください。

安全上のご注意

必ずお守りください

異常時の処理
について



■本機を落としたり、破損した場合は、ケーブルを抜く！



ケーブルを
抜く

そのまま使用すると、火災・感電を起こすおそれがあります。

■本機の内部に異物が入った場合は、ケーブルを抜く！



ケーブルを
抜く

そのまま使用すると、火災・感電を起こすおそれがあります。

■本機の内部に水などが入った場合は、ケーブルを抜く！



ケーブルを
抜く

そのまま使用すると、火災・感電を起こすおそれがあります。

■煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態の場合は、ケーブルを抜く！



ケーブルを
抜く

火災・感電の原因となります。

- お買い上げの販売店に、修理をご依頼ください。

■ケーブルが傷んだ場合は、交換を依頼する！



そのまま使用すると、火災・感電を起こすおそれがあります。

- お買い上げの販売店に、ご相談ください。

設置について

⚠ 注意

■ケーブルを熱器具に近づけない！



禁止

ケーブルの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

■油煙や湯気が当たる場所に置かない！



禁止

火災・感電の原因となることがあります。

■湿気やほこりの多い場所に置かない！



禁止

火災・感電の原因となることがあります。

■プラグを抜くときは、コードを引っ張らない！



禁止

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

- 必ずプラグを持って抜いてください。

■ぬれた手でコネクタを抜き差ししない！



禁止

感電の原因となることがあります。

■本機を通気の悪い所で使用しない！



禁止

内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

次のような使い方は、しないでください。

- 本機を風通しの悪い所に押し込む。
- テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置く。

安全上のご注意

必ずお守りください

使用方法について

注意

■本機の上に重い物を置かない！



禁止

バランスがくずれて、落下し、けがの原因となります。

■本機に乗らない！



禁止

倒れたり、壊れたりし、けがの原因になります。

■移動させる場合は、外部の接続ケーブルを外す！



禁止

ケーブルが傷つき、火災・感電の原因となる場合があります。

お手入れについて

注意

■お手入れの際は安全のため、ケーブルをはずす！



火災・感電の原因となることがあります。

台所用洗剤を布にしみこませて軽くふいてください。
ベンジン、シンナーなど揮発性のものをかけたりしないでください。

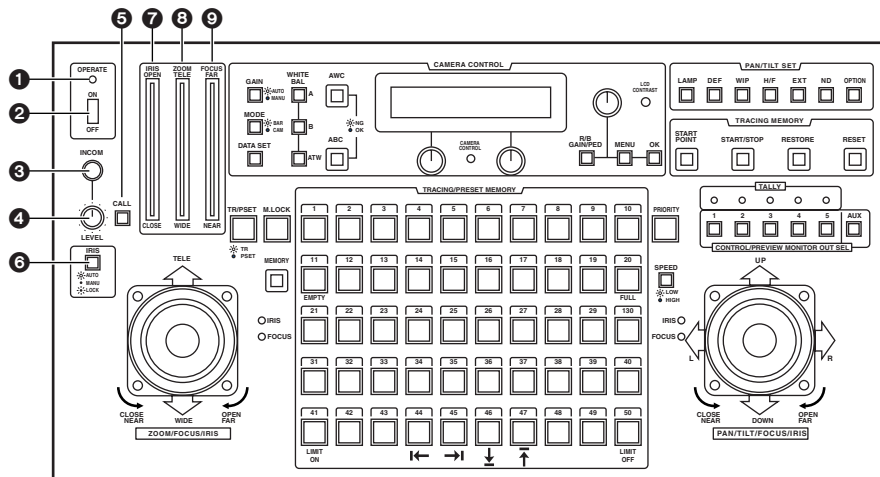
■1年に1度ぐらいは、販売店に内部の掃除の相談を！



本機の内部にほこりがたまったら、使用し続けると、火災・故障の原因となることがあります。

各部の名称と働き

■ コントロールパネル



① OPERATE ランプ

メインユニットに電源が供給されて、メインユニットの DC POWER スイッチとコントロールパネルの OPERATE スイッチが、どちらも ON の状態のときに点灯します。

どちらかのスイッチが OFF のときは、消灯します。

また、メインユニットとコントロールパネルを接続しているケーブルに、断線などのトラブルがあるときは点滅します。

② OPERATE スイッチ

メインユニットに接続されている全ての回転台システム（回転台とコンバーチブルカメラ）の電源を制御します。

③ INCOM ジャック

インカム（Inter Communication）用のヘッドセットを接続します。（推奨品：MT-12MFB/K）

④ LEVEL つまみ

ヘッドセットのレシーバー側の音量を調節します。

⑤ CALL ボタン

CALL ボタンを押すと、接続されている他のコントロールパネルのブザーが鳴り、CALL ボタンが点灯します。

⑥ IRIS [AUTO/MANU/LOCK] ボタン

現在選択されている回転台システムの、レンズアイリスの調整方法を選択します。

ボタンを押す毎に、AUTO/MANU/LOCK が切り替わります。

AUTO : 自動調整を行い、IRIS ボタンが点灯します。
AUTO を選択しているときに、IRIS 調整用の FOCUS/IRIS ダイアルを回すと、IRIS ボタンが点滅して警告します。

MANU : FOCUS/IRIS ダイアルでマニュアル調整します。

このとき IRIS ボタンは消灯します。

LOCK : マニュアル調整を行ったレンズアイリスのポジションに固定され、IRIS ボタンが点滅します。

IRIS 調整用の FOCUS/IRIS ダイアルを回しても、レンズアイリスのポジションは変化しません。

<ノート>

TRACING/PRESET MEMORY ボタンにレンズアイリスのポジションを登録するときは、MANU の位置にしてください。

⑦ IRIS インジケータ

現在選択されている回転台システムの、レンズアイリスのポジションを 12 段階（CLOSE ⇨ OPEN）で表示します。

⑧ ZOOM インジケータ

現在選択されている回転台システムの、レンズズームのポジションを 12 段階（WIDE ⇨ TELE）で表示します。

⑨ FOCUS インジケータ

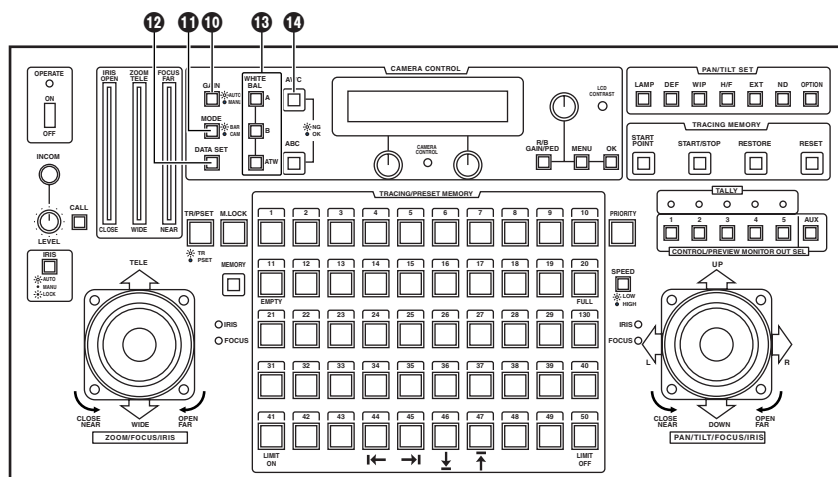
現在選択されている回転台システムの、レンズフォーカスのポジションを 12 段階（NEAR ⇨ FAR）で表示します。

<ノート>

IRIS、ZOOM、FOCUS の各インジケータ表示は、使用する回転台やカメラにより表示しない場合があります。詳しくは、お買い上げの販売店にご相談ください。

各部の名称と働き

■ コントロールパネル



⑩ GAIN [AUTO/MANU] ボタン

現在選択されている回転台システムの、カメラのゲインコントロールモードを選択します。

ボタンを押す毎に、AUTO モードと MANUAL モードが切り替わります。

AUTO モードのときはボタンが点灯し、MANUAL モードのときには消灯します。

AUTO モードのときに R/B GAIN/PED ボタンを押して GAIN の調整を行う場合、最大ゲインを AGC L と AGC H の 2 段階に設定することができます。

MANUAL モードのときに R/B GAIN/PED ボタンを押して GAIN の調整を行う場合は、ゲインを 0dB から ナイトアイモードまで設定することができます。

⑪ MODE [BAR/CAM] ボタン

現在選択されている回転台システムの、カメラの映像出力信号を選択します。

ボタンを押す毎に、カメラのカラーバー信号と映像信号が切り替わります。

カラーバー信号のときはボタンが点灯し、映像信号のときには消灯します。

⑫ DATA SET ボタン

本機の OPERATE スイッチを ON にした後に、回転台システムに電源を入れたときや回転台システムを接続したときなど、本機が回転台システムを認識していないときに、その回転台システムを選択して DATA SET ボタンを押します。

選択された回転台システムの電源が入り、カメラの初期設定を開始します。

⑬ WHITE BAL [A/B/ATW] ボタン

現在選択されている回転台システムの、カメラのホワイトバランスの調整を選択します。

A : A ボタンを押すと、カメラのメモリー A に登録されているホワイトバランスの状態になり、A ボタンが点灯します。

A ボタンを押した後に AWC ボタンを押すと、ホワイトバランスを自動調整してカメラのメモリー A に登録します。

B : B ボタンを押すと、カメラのメモリー B に登録されているホワイトバランスの状態になり、B ボタンが点灯します。

B ボタンを押した後に AWC ボタンを押すと、ホワイトバランスを自動調整してカメラのメモリー B に登録します。

ATW: ATW ボタンを押すと、ホワイトバランスは自動調整モードになり、ATW ボタンが点灯します。

⑭ AWC ボタン

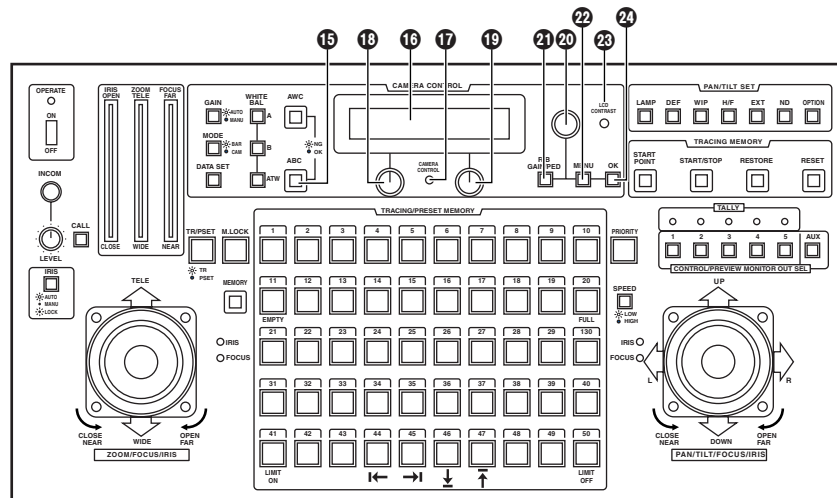
WHITE BAL [A] ボタンや [B] ボタンが選択されているときにこのボタンを押し、ホワイトバランスを自動調整してカメラのメモリー A やメモリー B に登録します。ホワイトバランスの調整中は AWC ボタンが点滅し、正常に調整されたときに消灯します。調整できなかったときには点灯します。

< ノート >

- MODE ボタンが BAR (MODE ボタンが点灯) のときや ATW が選択されているときは、動作しません。
- ホワイトバランスを調整するときは、撮影している画面に白い対象物が無いと調整できないときがあります。
- AW-PH350 以外の回転台を使用しているときは、正常に調整されなかったときも消灯します。

各部の名称と働き

■ コントロールパネル



15 ABC ボタン

現在選択されている回転台システムの、カメラのブラックバランスを自動調整します。
IRIS [AUTO/MANU/LOCK] スイッチを AUTO (IRIS ボタンが点灯) にして ABC ボタンを押します。
ブラックバランスの調整中は ABC ボタンが点滅し、正常に調整されたときに消灯します。調整できなかったときには点灯します。

<ノート>

AW-PH350 以外の回転台を使用しているときは、正常に調整されなかったときも消灯します。

16 LCD パネル

現在の設定状態を表示します。

17 CAMERA CONTROL ランプ

現在選択されている回転台システムの、カメラとの通信が正常に行われているときに点灯します。通信に異常があると消灯します。

<ノート>

AW-PH350 以外の回転台を使用しているときは、通信が正常に行われているときも消灯したままです。

18 ジョグダイヤル (L)

設定メニューモードのときに、LCD パネルの下段左側に表示されている項目の値を変更します。

19 ジョグダイヤル (R)

設定メニューモードのときに、LCD パネルの下段右側に表示されている項目の値を変更します。

20 ジョグダイヤル (メイン)

設定メニューモードのときに、LCD パネルの上段に表示されている項目の選択や、値の変更を行います。

21 R/B GAIN/PED ボタン

現在選択されている回転台システムの、カメラの R/B ゲインや R/B ペDESTAL を調整するときはこのボタンを押します。
ボタンを押す毎に、調整モードの ON/OFF が切り替わります。
調整モードが ON のときはボタンが点灯し、OFF のときには消灯します。

22 MENU ボタン

現在選択されている回転台システムの、設定メニューモードの ON/OFF を選択します。
ボタンを押す毎に、ON/OFF が切り替わります。
設定メニューモードが ON のときは、ボタンが点灯して LCD パネルに設定メニューが表示されます。このとき、設定メニューの項目を選択する場合にも、MENU ボタンで項目を選択します。
設定メニューモードが OFF のときには、ボタンが消灯して LCD パネルの表示が元に戻ります。

23 LCD CONTRAST コントロール

LCD パネルのコントラストを調整します。

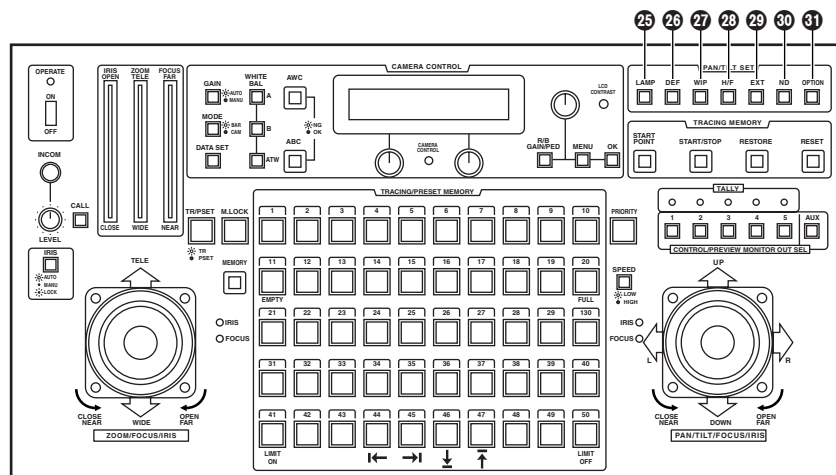
24 OK ボタン

設定メニュー項目の選択を行うときや、項目の値を確定するときには押します。

設定メニューの項目には、ジョグダイヤル 18 19 20 を押す毎に、設定値が変化する速度を切り替えることができる項目があります。(40、41 ページ参照)
ただし、別売のコントロールパネル AW-RP615 では、この機能が働かない場合があります。

各部の名称と働き

■ コントロールパネル



25 LAMP ボタン

現在選択されている回転台システムに接続されている、ハロゲンランプの点灯と消灯を制御します。
ボタンを押す毎に、点灯と消灯が切り替わります。
ハロゲンランプが点灯しているときはボタンが点灯し、消灯しているときにはボタンが消灯します。
ハロゲンランプが接続されていないときや断線などのトラブルがあるときには、ボタンが点滅します。

26 DEF ボタン

現在選択されている回転台システムにデフロスタ機能がある回転台 (AW-PH600) を使用している場合、デフロスタ機能の ON/OFF を選択します。
ボタンを押す毎に、ON/OFF が切り替わります。
デフロスタが ON のときはボタンが点灯し、OFF のときには消灯します。

27 WIP ボタン

現在選択されている回転台システムにワイパー機能がある回転台 (AW-PH600) を使用している場合、ワイパー機能の ON/OFF を選択します。
ボタンを押す毎に、ON/OFF が切り替わります。
ワイパーが ON のときはボタンが点灯し、OFF のときには消灯します。

28 H/F ボタン

現在選択されている回転台システムにヒーター/ファン機能がある回転台 (AW-PH600) を使用している場合、ヒーター/ファン機能の ON/OFF を選択します。
ボタンを押す毎に、ON/OFF が切り替わります。
ヒーター/ファンが ON のときはボタンが点灯し、OFF のときには消灯します。

29 EXT ボタン

現在選択されている回転台システムにエクステンダー機能があるレンズを使用している場合、エクステンダー機能の ON/OFF を選択します。
ボタンを押す毎に、ON/OFF が切り替わります。
エクステンダーが ON のときはボタンが点灯し、OFF のときには消灯します。

30 ND ボタン

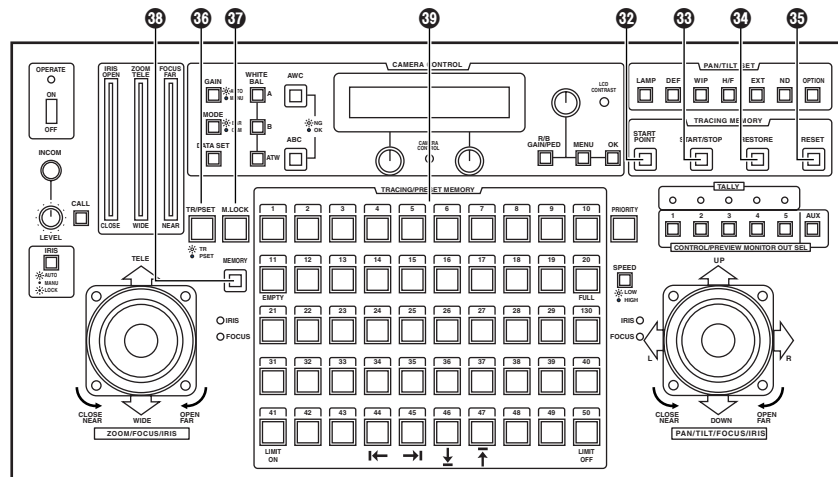
現在選択されている回転台システムに ND フィルター機能があるレンズを使用している場合、ND フィルター機能の ON/OFF を選択します。
ボタンを押す毎に、ON/OFF が切り替わります。
ND フィルターが ON のときはボタンが点灯し、OFF のときには消灯します。

31 OPTION ボタン

現在選択されている回転台システムに接続されている、AC アダプター (AW-PS300) の OPTION SW CONTROL OUT 端子の短絡/解放を制御します。
ボタンを押す毎に、短絡と解放が切り替わります。
短絡したときはボタンが点灯し、解放したときにはボタンが消灯します。

各部の名称と働き

■ コントロールパネル



32 START POINT ボタン

トレーシングメモリーを開始する位置を設定するときに押します。

33 START/STOP ボタン

トレーシングメモリーの登録を開始するときと停止するときに押します。

34 RESTORE ボタン

登録されているトレーシングメモリーを修正するときに押します。

35 RESET ボタン

登録されているトレーシングメモリーを消去するときに押します。

36 TR/PSET ボタン

トレーシングメモリーモードとプリセットメモリーモードを選択します。
ボタンを押す毎に、トレーシングメモリーモードとプリセットメモリーモードが切り替わります。
トレーシングメモリーモードのときはボタンが点灯し、プリセットメモリーモードのときには消灯します。

37 M. LOCK ボタン

トレーシングメモリーやプリセットメモリーの記録禁止と許可を選択します。
ボタンを押す毎に、記録禁止と許可が切り替わります。
記録が禁止されているときはボタンが点灯し、許可されているときには消灯します。

38 MEMORY ボタン

回転台システムの設定内容を、プリセットメモリーとして TRACING/PRESET MEMORY ボタン [1] ~ [50] に登録するときに押します。
プリセットメモリーは、回転台システム 1 系統に最大 50 種類の設定を登録できます。

回転台システムの設定内容：

回転台：

パン/チルト位置

カメラ：

ズーム、フォーカス、絞り、ホワイトバランス

プリセットメモリーへの登録方法：

- ① CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SEL ボタンで、回転台システムを選択します。
- ② TR/PSET ボタンでプリセットメモリーモードを選択します。
- ③ 回転台システムを設定します。
- ④ MEMORY ボタンを押しながら、登録する TRACING/PRESET MEMORY ボタン [1] ~ [50] を押します。

39 TRACING/PRESET MEMORY ボタン [1] ~ [50]

トレーシングメモリーやプリセットメモリーをボタンに登録します。

トレーシングメモリー：[1] ~ [10]

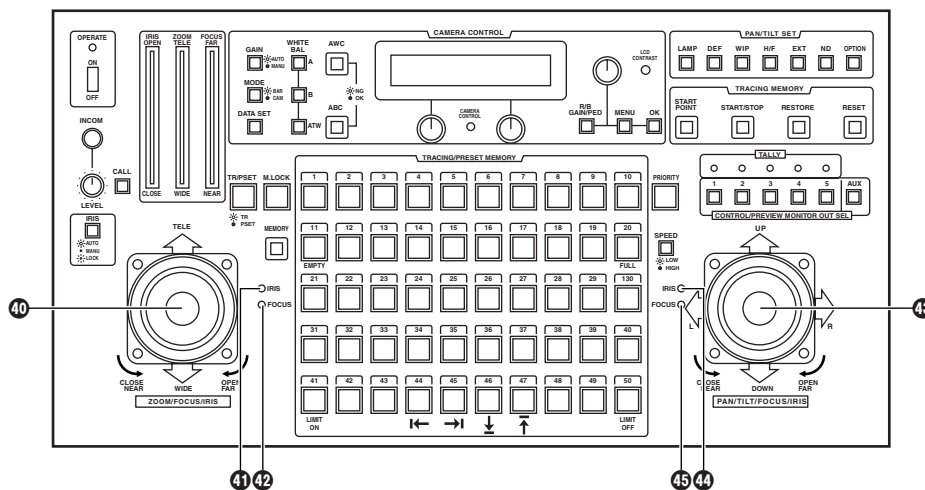
プリセットメモリー：[1] ~ [50]

< ノート >

トレーシングメモリーが既に登録されているボタンには、プリセットメモリーを登録することができません。

各部の名称と働き

■ コントロールパネル



④① ZOOM レバー、FOCUS/IRIS ダイヤル

現在選択されている回転台システムの、レンズのズームを調整します。

倒す方向により TELE（望遠）と WIDE（広角）を決め、倒す角度によりズームスピードを調整します。

また、レバーの上部にあるダイヤルでレンズフォーカスとレンズアイリスを調整します。

ダイヤルは、レバーの天面にあるボタンでフォーカス調整ダイヤルと絞り調整ダイヤルに切り替えます。

フォーカス調整ダイヤルに切り替えたときは、レバーの右側にある FOCUS ランプが点灯し、絞り調整ダイヤルに切り替えたときには IRIS ランプが点灯します。

< ノート >

ZOOM レバーのダイヤルが、絞り調整ダイヤルとして動作するとき、対面している PAN/TILT/レバーのダイヤルは、フォーカス調整ダイヤルとして動作し、PAN/TILT レバーの左側にある FOCUS ランプが点灯します。

同様に、ZOOM レバーのダイヤルが、フォーカス調整ダイヤルとして動作するとき、対面している PAN/TILT レバーのダイヤルは、絞り調整ダイヤルとして動作し、PAN/TILT レバーの左側にある IRIS ランプが点灯します。

④② IRIS ランプ

ZOOM レバーの上部にあるダイヤルが、絞り調整ダイヤルとして動作するときに点灯します。

④③ FOCUS ランプ

ZOOM レバーの上部にあるダイヤルが、フォーカス調整ダイヤルとして動作するときに点灯します。

④④ PAN/TILT レバー、FOCUS/IRIS ダイヤル

現在選択されている回転台システムの、回転台の向きを調整します。

L/R 方向に倒すと回転台の向きが左右方向に変わり、UP/DOWN 方向に倒すと上下方向に変わります。

レバーを倒す角度によりスピードを調整します。

また、レバーの上部にあるダイヤルでレンズフォーカスとレンズアイリスを調整します。

ダイヤルは、レバーの天面にあるボタンでフォーカス調整ダイヤルと絞り調整ダイヤルに切り替えます。

フォーカス調整ダイヤルに切り替えたときは、レバーの左側にある FOCUS ランプが点灯し、絞り調整ダイヤルに切り替えたときには IRIS ランプが点灯します。

< ノート >

PAN/TILT レバーのダイヤルが、絞り調整ダイヤルとして動作するとき、対面している ZOOM レバーのダイヤルは、フォーカス調整ダイヤルとして動作し、ZOOM レバーの右側にある FOCUS ランプが点灯します。

同様に、PAN/TILT レバーのダイヤルが、フォーカス調整ダイヤルとして動作するとき、対面している ZOOM レバーのダイヤルは、絞り調整ダイヤルとして動作し、ZOOM レバーの右側にある IRIS ランプが点灯します。

④⑤ IRIS ランプ

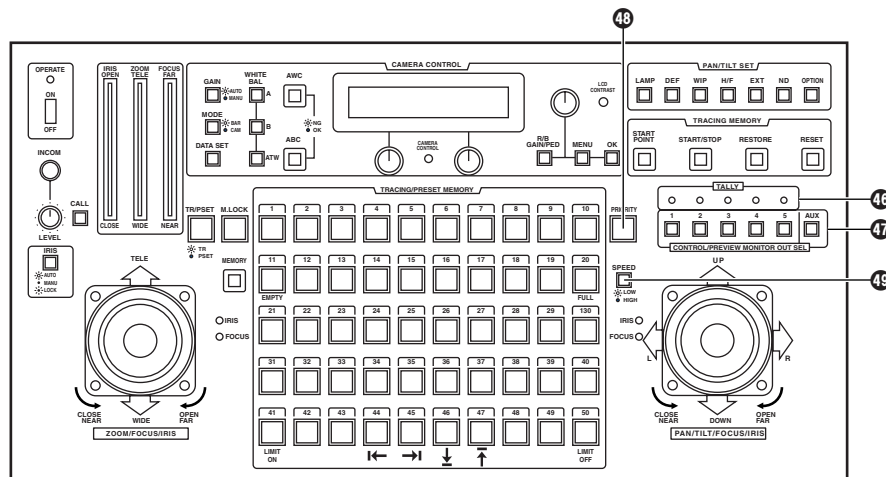
PAN/TILT レバーの上部にあるダイヤルが、絞り調整ダイヤルとして動作するときに点灯します。

④⑥ FOCUS ランプ

PAN/TILT レバーの上部にあるダイヤルが、フォーカス調整ダイヤルとして動作するときに点灯します。

各部の名称と働き

■ コントロールパネル



46 TALLY ランプ [1] ~ [5]

メインユニットの TALLY 端子 [1] ~ [5] にタリー信号が入力されたときに、端子に対応した番号のランプが点灯します。

47 CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SEL ボタン

[1] ~ [5], [AUX]

1 から 5 のボタンを押すと、メインユニットの各スロットに接続されている回転台システムを選択します。

選択された番号のボタンが点灯し、選択された回転台システムからの映像信号が、メインユニットの PREVIEW MONITOR OUT 1 ~ 3 端子に出力されます。

AUX ボタンを押すと、メインユニットの AUX IN 75 Ω 端子に接続されている機器からの信号が出力されます。

48 PRIORITY ボタン

メインユニットに複数のコントロールパネルが接続されているときには、このボタンを押して回転台システムを制御します。

制御モードのときはボタンが点灯し、非制御モードのときには消灯します。

メインユニットに 1 台のコントロールパネルが接続されているときには、このボタンが常に点灯しています。

49 SPEED ボタン

現在選択されている回転台システムの、制御（パン、チルト、ズーム、フォーカス、アイリス）速度を選択します。

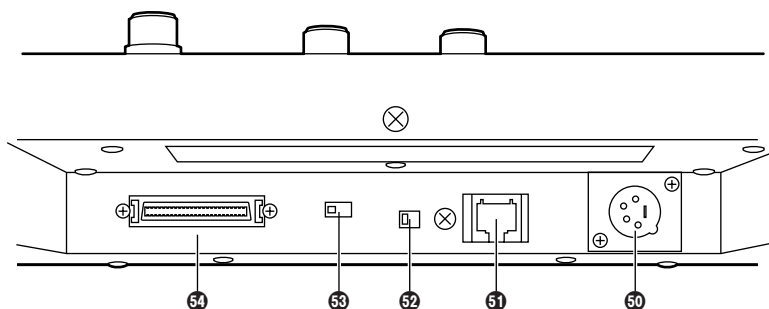
ボタンを押す毎に、高速モードと低速モードが切り替わります。

高速モードのときはボタンが点灯し、低速モードのときには消灯します。

設定メニューの SPEED SELECT 項目では、高速モードと低速モードのそれぞれに 3 段階の速度を設定できます。

各部の名称と働き

■ コントロールパネル



⑤④ DC 12V IN 端子

メインユニットからの電源入力端子です。
メインユニットの CONTROL PANEL POWER OUT 端子に付属の接続ケーブル（10m）で接続します。
<ノート>
10m を越えて接続する場合は、AC アダプター AW-PS505（別売品）を接続してください。

⑤① CONTROL OUT 端子

メインユニットへのコントロール信号出力端子です。
メインユニットの CONTROL IN TO CONTROL PANEL [1]～[3] 端子に付属の接続ケーブル（10m）で接続します。
<ノート>
10m を越えて接続する場合は、10BASE-T（UTP カテゴリー 5）相当のストレートケーブルで接続してください。最大 1000m まで延長できます。
メインユニットに複数台のコントロールパネルを接続するときは、それぞれのケーブル長さの合計を 1000m までにしてください。

⑤② TERMINATION スイッチ

コントロール信号の終端スイッチです。

<ノート>

- メインユニットにコントロールパネルが 1 台接続されているときは、このスイッチとメインユニットの TERMINATION スイッチの両方を ON にしてください。
- メインユニットにコントロールパネルが 2 台接続されているときは、このスイッチを 2 台とも ON にし、メインユニットの TERMINATION スイッチを OFF にしてください。
- メインユニットにコントロールパネルが 3 台接続されているときは、メインユニットとの接続ケーブルが一番短いコントロールパネルのスイッチとメインユニットの TERMINATION スイッチを OFF にし、他のコントロールパネル 2 台のスイッチを ON にしてください。

⑤③ ID スイッチ

コントロールパネルの ID 番号を設定します。

<ノート>

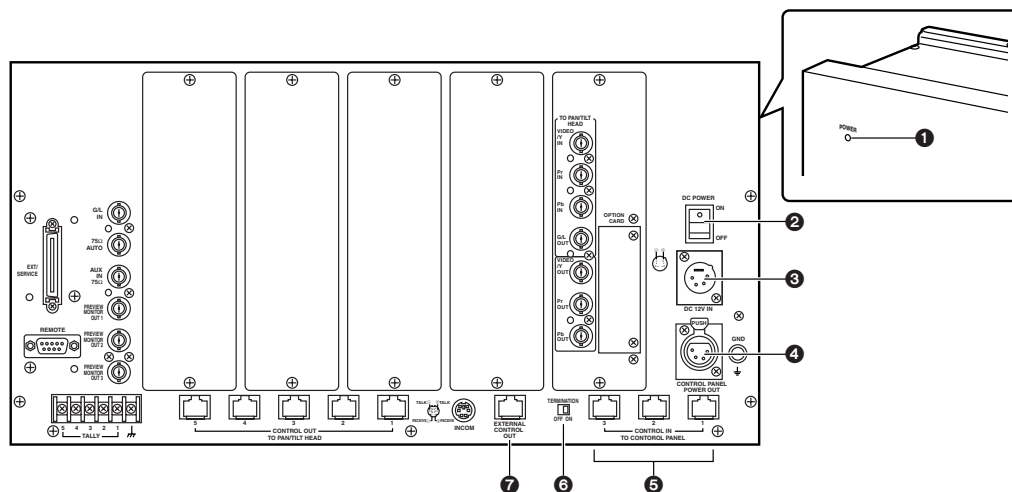
メインユニットに複数のコントロールパネルが接続されているときは、同じ ID 番号に設定しないでください。

⑤④ SERVICE 端子

メンテナンス用の端子です。
何も接続しないでください。

各部の名称と働き

■ メインユニット



① POWER ランプ

メインユニットに電源が供給されて、DC POWER スイッチを ON にすると緑色に点灯します。OFF にすると消灯します。

② DC POWER スイッチ

メインユニットの電源スイッチです。

③ DC 12V IN 端子

AC アダプター AW-PS505 (別売品) を接続します。AW-PS505 を電源に使用した場合は、本機に別売のビデオボード AW-PB605 を 4 枚増設することができ、計 5 枚のビデオボードを使用することができます。ただし、オプションカードを搭載する場合など、本機を含めた総電力が 30W を越える場合は、AC アダプター AJ-B75 (別売品) を使用してください。

④ CONTROL PANEL POWER OUT 端子

コントロールパネル用の電源出力端子です。コントロールパネルの DC 12V IN 端子に付属の接続ケーブル (10m) で接続します。

< ノート >

- 10m を越えて接続する場合は、付属の接続ケーブルを使用しないで、コントロールパネルに AC アダプター AW-PS505 (別売品) を接続してください。
- 複数台のコントロールパネルを接続する場合は、各コントロールパネルに AC アダプター AW-PS505 (別売品) を接続してください。

⑤ CONTROL IN TO CONTROL PANEL [1]~[3] 端子

コントロールパネルからのコントロール信号入力端子です。コントロールパネルの CONTROL OUT 端子に付属の接続ケーブル (10m) で接続します。

< ノート >

10m を越えて接続する場合は、10BASE-T (UTP カテゴリー 5) 相当のストレートケーブルで接続してください。最大 1000m まで延長できます。メインユニットに複数台のコントロールパネルを接続するときは、それぞれのケーブル長さの合計を 1000m までにしてください。

⑥ TERMINATION スイッチ

コントロール信号の終端スイッチです。

< ノート >

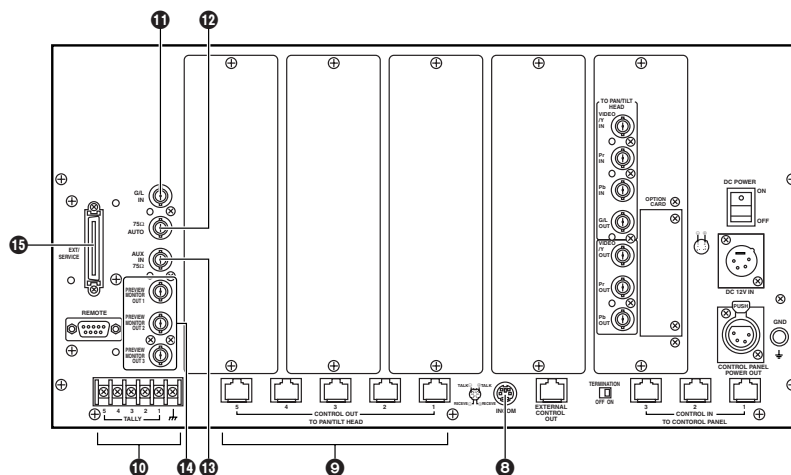
- メインユニットにコントロールパネルが 1 台接続されているときは、このスイッチとコントロールパネルの TERMINATION スイッチの両方を ON にしてください。
- メインユニットにコントロールパネルが 2 台接続されているときは、このスイッチを OFF にし、コントロールパネルの TERMINATION スイッチを 2 台とも ON にしてください。
- メインユニットにコントロールパネルが 3 台接続されているときは、このスイッチとメインユニットとの接続ケーブルが一番短いコントロールパネルの TERMINATION スイッチを OFF にし、他のコントロールパネル 2 台の TERMINATION スイッチを ON にしてください。

⑦ EXTERNAL CONTROL OUT 端子

機能拡張用の端子です。
現在はサポートされておりません。

各部の名称と働き

■ メインユニット



⑧ INCOM 端子

ライブスイッチャー AW-SW300 の TALLY & INCOM 端子等に接続して、インカム (Inter Communication) 通信を行う端子です。
インカム通信を行う場合は、付属のインカムシステム用プラグ (MINI DIN 6 ピン) を使用してください。



ピン No.	信号内容
1	RECEIVE +
2	RECEIVE -
3	TALK +
4	TALK -
5	—
6	—

⑨ CONTROL OUT TO PAN/TILT HEAD [1]~[5] 端子

回転台 AW-PH350 の IP/RP 端子に 10BASE-T (UTP カテゴリー 5) 相当のストレートケーブルで接続してください。最大 1000m まで延長できます。
他の回転台と接続する場合は、RS-232C/RS-422 変換器を使用して、回転台の RS-232C コントロール接続端子に接続してください。

⑩ TALLY 端子 [1] ~ [5]

特殊効果装置 (Special Effects Generator) やビデオスイッチャー等の TALLY 端子と接続します。
端子番号 1 ~ 5 に入力される電圧が GND レベルになると、コントロールパネルの TALLY ランプや回転台の TALLY ランプが点灯します。

⑪ G/L IN 端子 (75 Ω 自動終端)

回転台システムのカメラを外部信号に同期させて使用するとき、同軸ケーブルを接続してブラックバースト信号や VBS (Video Burst and Sync Signal) を入力します。
75 Ω AUTO 端子に同軸ケーブルを接続すると 75 Ω 終端が OFF になります。

⑫ 75 Ω AUTO 端子

G/L IN 端子に入力されたブラックバースト信号や VBS (Video Burst and Sync Signal) をループスルー出力します。

⑬ AUX IN 75 Ω 端子

同軸ケーブルを接続して特殊効果装置 (Special Effects Generator) 等からのラインビュー信号などを入力します。
コントロールパネルの CONTROL/MONITOR OUT SEL の AUX ボタンを押すと、AUX IN 75 Ω 端子に入力された信号が PREVIEW MONITOR OUT 1/2/3 端子から出力されます。

⑭ PREVIEW MONITOR OUT 1/2/3 端子

同軸ケーブルを接続して、モニターテレビの映像入力端子に接続します。
コントロールパネルの CONTROL/MONITOR OUT SEL の 1 ~ 5 ボタンを押すと、選択された回転台システムからの映像信号が出力されます。
また、AUX ボタンを押したときは、AUX IN 75 Ω 端子に入力された信号が出力されます。

< ノート >

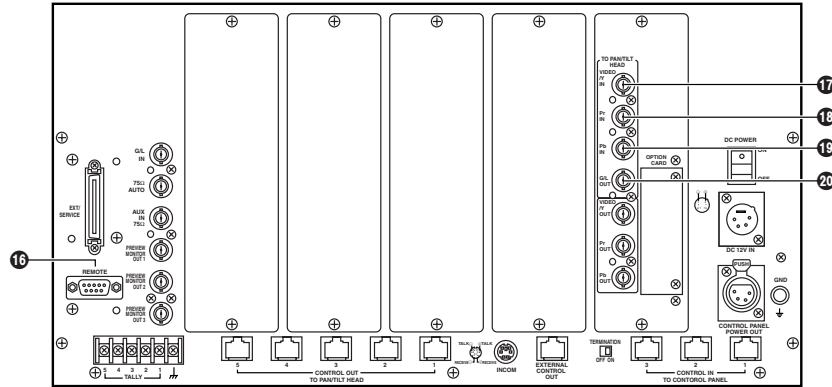
この端子から出力される信号は、映像確認用の信号です。実際にカメラで撮影している画質は、VIDEO/Y OUT 端子、Pr OUT 端子、Pb OUT 端子から出力されます。

⑮ EXT/SERVICE 端子

機能拡張用の端子です。
現在はサポートされておりません。

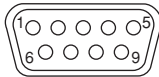
各部の名称と働き

■ メインユニット



16 REMOTE 端子

パーソナルコンピューターなど外部機器で回転台システムを制御するときに、外部機器を接続します。



ピン No.	信号内容
1	—
2	RXD IN
3	TXD OUT
4	DTR
5	GND
6	DSR
7	RTS
8	CTS
9	—

17 VIDEO/Y IN 端子

同軸ケーブル（5C-2V 相当）を接続して、回転台の映像出力端子や Y/VIDEO 出力端子に接続します。
 回転台に AW-PH350 を使用した場合、最大 1000m まで接続できます。
 他の回転台を使用した場合、最大 800m まで接続できます。

18 Pr IN 端子

映像信号としてコンポーネント信号を使用する場合、同軸ケーブル（5C-2V 相当）を接続して、回転台の Pr 信号出力端子に接続します。
 回転台に AW-PH350 を使用した場合、最大 1000m まで接続できます。
 回転台に AW-PH600 を使用した場合、最大 800m まで接続できます。

19 Pb IN 端子

映像信号としてコンポーネント信号を使用する場合、同軸ケーブル（5C-2V 相当）を接続して、回転台の Pb 信号出力端子に接続します。
 回転台に AW-PH350 を使用した場合、最大 1000m まで接続できます。
 回転台に AW-PH600 を使用した場合、最大 800m まで接続できます。

20 G/L OUT 端子

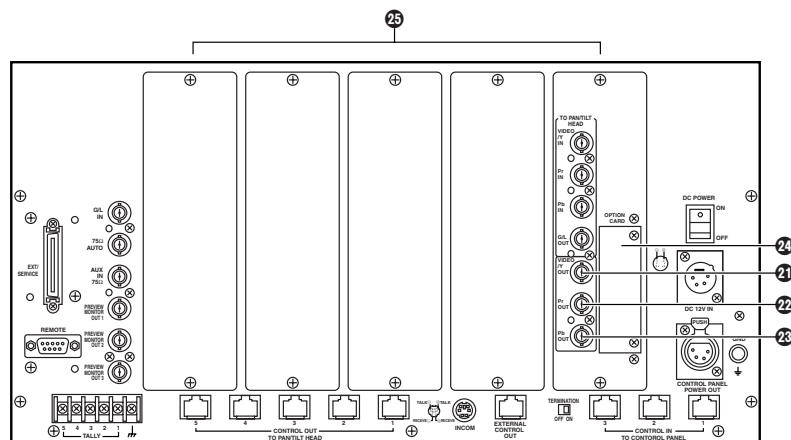
同軸ケーブル（5C-2V 相当）を接続して、回転台のガンロック信号入力端子に接続します。
 回転台に AW-PH350 を使用した場合、最大 1000m まで接続できます。
 他の回転台を使用した場合、最大 800m まで接続できます。

<ノート>

映像信号としてコンポーネント信号を使用する場合、コンバーチブルカメラに RGB カード AW-PB302（別売品）を装着する必要があります。

各部の名称と働き

■ メインユニット



②① VIDEO/Y OUT 端子

回転台からメインユニットまでのケーブル長さに合わせ、ケーブル補償回路で調整された映像信号が出力されます。同軸ケーブルを接続して、モニターテレビ、特殊効果装置 (Special Effects Generator)、VTR 等の映像入力端子や Y 信号入力端子に接続します。

②② Pr OUT 端子

本機にコンポーネント信号が入力されているとき、回転台からメインユニットまでのケーブル長さに合わせ、ケーブル補償回路で調整された Pr 信号が出力されます。同軸ケーブルを接続して、モニターテレビ、特殊効果装置 (Special Effects Generator)、VTR 等の Pr 入力端子に接続します。

②③ Pb OUT 端子

本機にコンポーネント信号が入力されているとき、回転台からメインユニットまでのケーブル長さに合わせ、ケーブル補償回路で調整された Pb 信号が出力されます。同軸ケーブルを接続して、モニターテレビ、特殊効果装置 (Special Effects Generator)、VTR 等の Pr 入力端子に接続します。

②④ OPTION CARD スロット

本機にコンポーネント信号が入力されているとき、別売品の RGB カード AW-PB302 や SDI カード AW-PB304、Web カード AW-PB309 をこのスロットに搭載すると、それぞれのカードの機能を生かした信号が取り出せます。詳しくは、それぞれのカードの取扱説明書を参照してください。

< ノート >

- オプションカードを本機に搭載するときには、コンバーチブルカメラに RGB カード AW-PB302 が必要になります。
- Web カード AW-PB309 を本機に搭載しても、パソコンで回転台システムを制御することはできません。

②⑤ VIDEO BOARD スロット 1 ~ 5

1 つの回転台システムには、1 枚の VIDEO ボードが必要です。スロット 1 には、VIDEO ボードが搭載されていますので、残り 4 枚の VIDEO ボード AW-PB605 (別売品) を搭載することができ、回転台システムを増設することができます。

< ノート >

- 本機で映像信号を処理しないで、回転台システムの操作だけを行う場合、VIDEO ボードを搭載する必要はありません。
- オプションカードを搭載する場合など、本機を含めた総電力が 30W を越える場合は、DC 12V IN 端子に AC アダプター AJ-B75 (別売品) を接続してください。

接続はすべての機器の電源を切った状態で行ってください。

- メインユニットの AC アダプターには AW-PS505 (別売品) を、回転台の AC アダプターには、AW-PS300 (別売品) 使用してください。
- コントロールパネルの DC 12V IN 端子をメインユニットの CONTROL PANEL POWER OUT 端子に、また、コントロールパネルの CONTROL OUT 端子をメインユニットの CONTROL IN TO CONTROL PANEL 端子の 1 に、付属ケーブル (10m) で接続します。
コントロールパネルとメインユニット間を 10m 以上延ばす場合は、コントロールパネル用の電源として、別途 AW-PS505 (別売品) と 10BASE-T ストレートケーブル 1 本 (コントロール信号用) が必要です。
最大延長距離は、10BASE-T ストレートケーブル (UTP カテゴリー 5 相当) 使用時に 500m です。
- 回転台 AW-PH350 と回転台 AC アダプター AW-PS300 を、DC 電源コード (公称断面積 1.25mm² 以上の電気用品取締法に適合したケーブル) で接続します。
回転台と回転台用 AC アダプターの最大延長距離は 30m です。
- 回転台 AW-PH350 とコンバーチブルカメラを、コンポジットカメラケーブル (AW-CA50T29) または、コンポーネントカメラケーブル (AW-CA50C29) で接続します。
- 電動ズームレンズのアイリスコントロールケーブルをカメラに、リモート (ズーム/フォーカスコントロール) ケーブルを回転台に接続します。

コンポジット信号を使用する場合

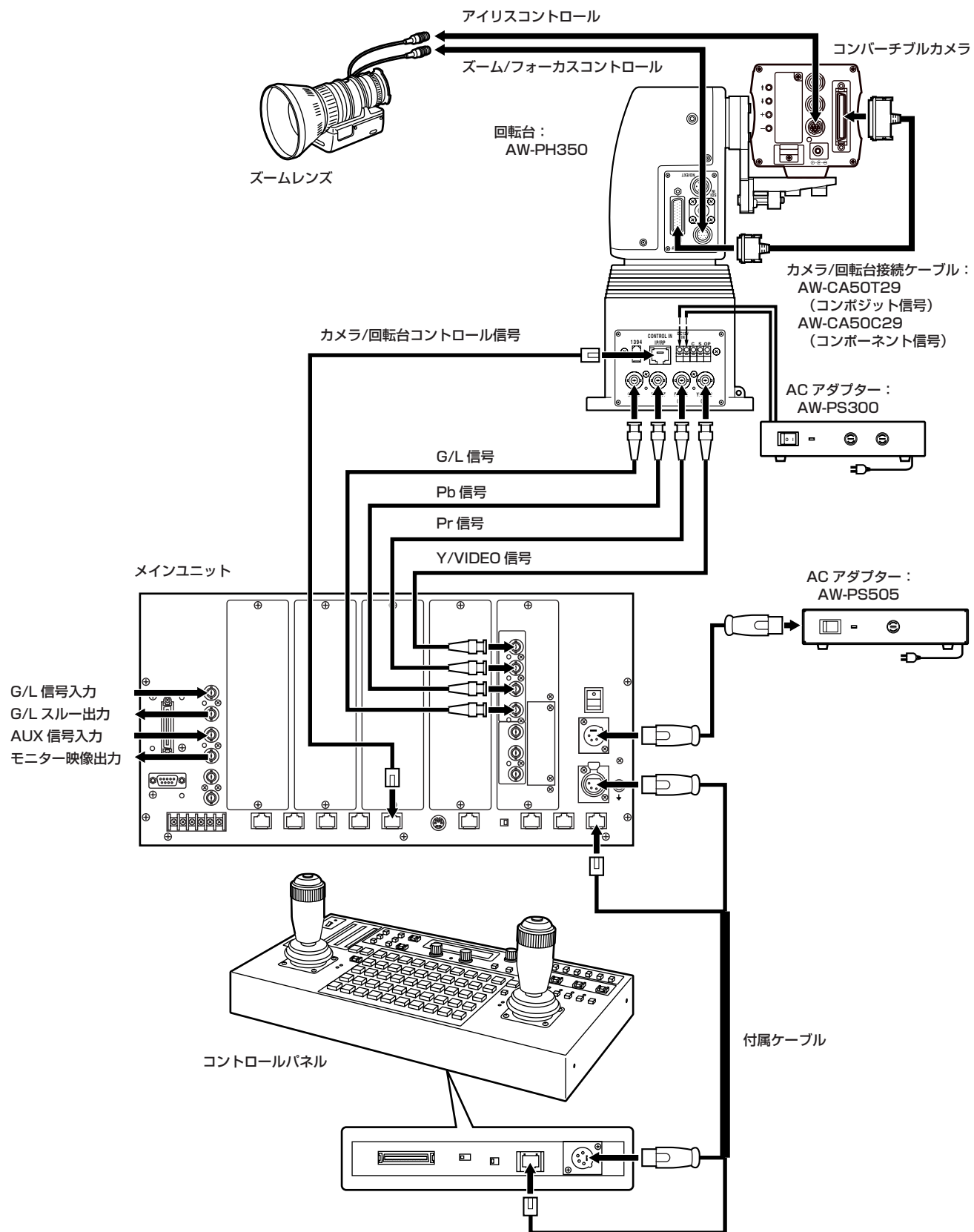
- 回転台 AW-PH350 とコンバーチブルカメラの接続には、AW-CA50T29 (別売品) が必要です。
- メインユニットと回転台間を回転台 1 台につき、同軸ケーブル 2 本 (映像信号、G/L 信号) と 10BASE-T ストレートケーブル 1 本 (カメラ/回転台コントロール信号) で接続します。
最大延長距離は、回転台毎に 1000m です。
(同軸ケーブル: 5C-2V 相当、10BASE-T ケーブル: UTP カテゴリー 5 相当の使用時)

コンポーネント信号を使用する場合

- 回転台 AW-PH350 とコンバーチブルカメラの接続には、AW-CA50C29 (別売品) が必要です。
- メインユニットと回転台間を回転台 1 台につき、同軸ケーブル 4 本 (Y 信号、Pr 信号、Pb 信号、G/L 信号) と 10BASE-T ストレートケーブル 1 本 (カメラ/回転台コントロール信号) で接続します。
最大延長距離は、回転台毎に 1000m です。
(同軸ケーブル: 5C-2V 相当、10BASE-T ケーブル: UTP カテゴリー 5 相当の使用時)
- コンポーネント信号を使用する場合は、コンバーチブルカメラに別売の RGB カード (AW-PB302) を搭載する必要があります。

各機器の詳しい接続方法は、それぞれの取扱説明書を参照してください。

接続



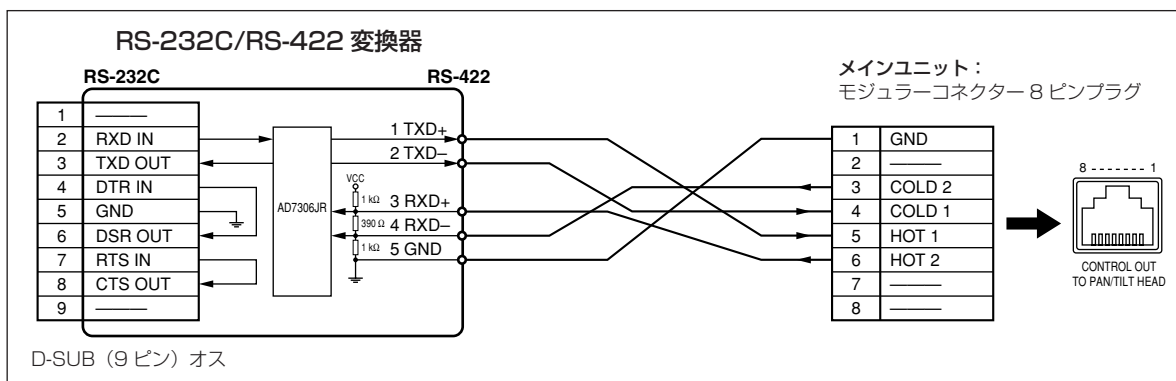
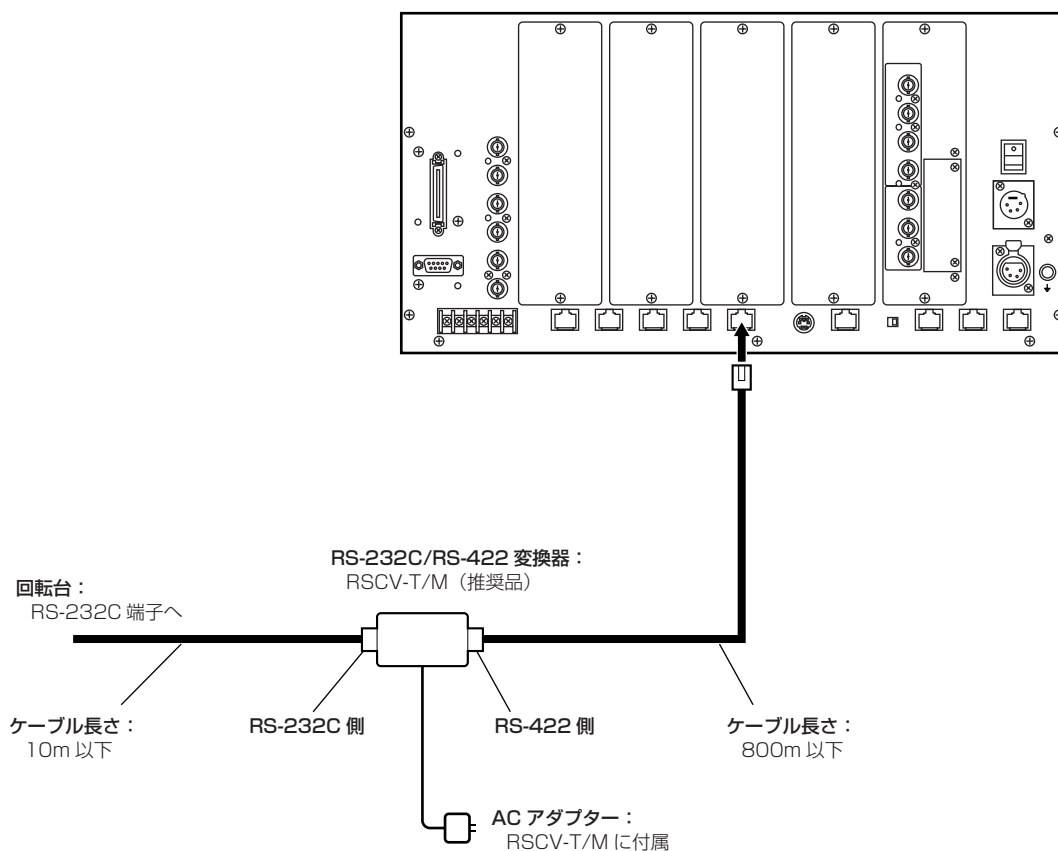
接続

AW-PH350 以外の回転台を使用する場合

回転台として AW-PH300、AW-PH300A、AW-PH500、AW-PH600 を使用する場合、メインユニットからのコントロール信号を RS-422 から RS-232C に、レベル変換する必要があります。

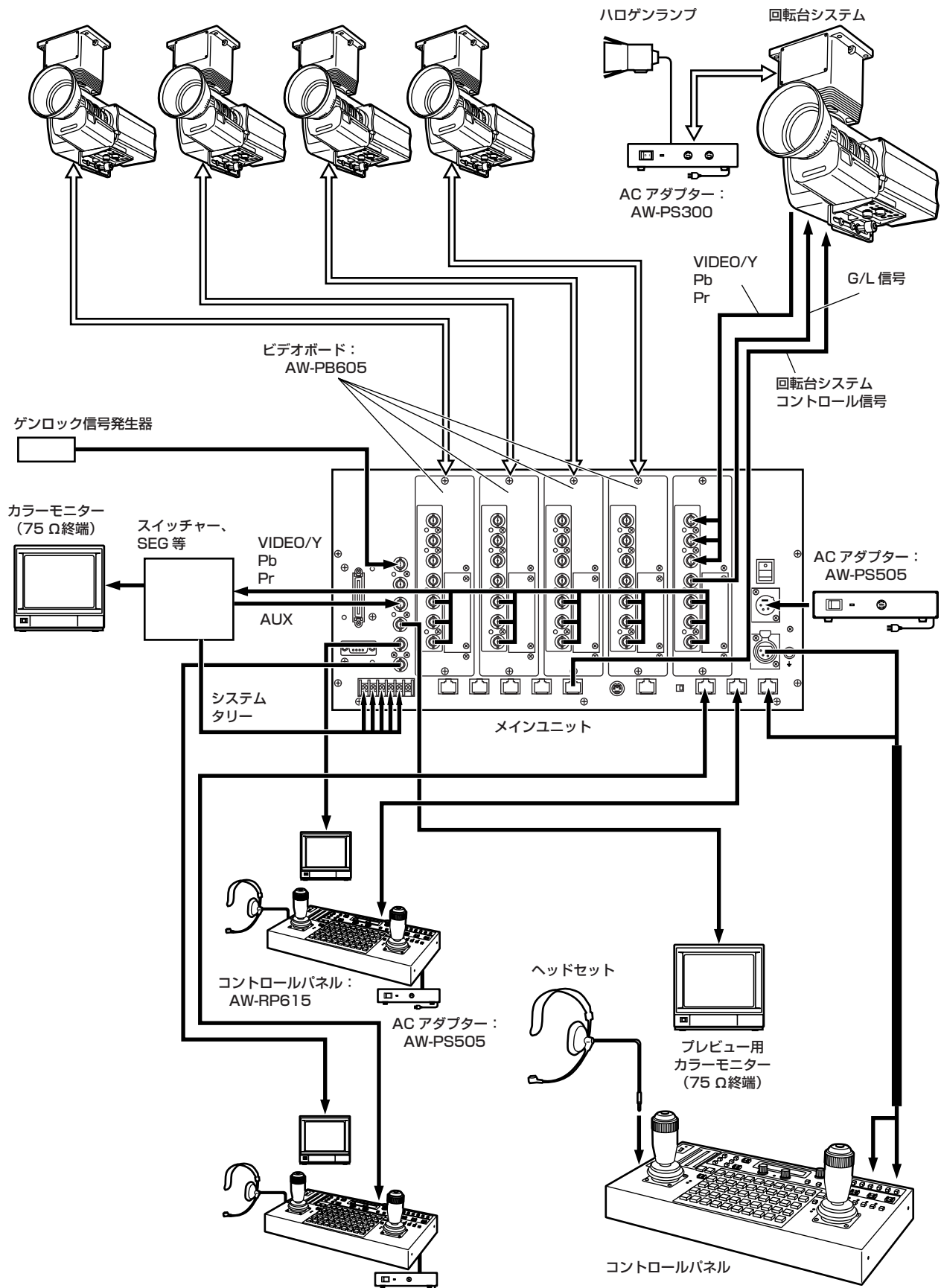
RS-232C/RS-422 変換器と接続ケーブルにつきましては、販売店にご相談ください。

下記に、推奨品 RSCV-TM（データリンク株式会社製）を使用した場合の接続例を示します。



接続

システム構成例



操作手順

■ 電源の投入

1. 接続している機器全ての電源スイッチと、ACアダプターの電源スイッチを ON にします。
2. メインユニットの DC POWER スwitch を ON にします。
3. コントロールパネルの OPERATE スwitch を ON にします。
メインユニットに接続されている回転台システムの電源が入り、カメラの初期設定を順次行います。

< ノート >

- カメラの初期設定を行うと同時に、コントロールパネルの PAN/TILT レバーと ZOOM レバーの設定も行っています。LCD パネルが下記の表示のときは、レバーに触れないようにしてください。

*** INITIALIZE ***
PLEASE WAIT

- カメラの初期設定には、1 台につき約 30 秒が必要です。カメラの初期設定が終わるまでは、回転台システムの制御ができません。
- コントロールパネルの OPERATE スwitch を ON にする前に、必ず、接続している機器全ての電源スイッチと、AC アダプターの電源スイッチを ON にしてください。

■ 回転台の可動範囲（リミッター）の設定

回転台システムの設置場所によっては、可動範囲内に障害物があり、回転台システムが接触する場合があります。回転台システムが障害物に接触していると、故障や事故の原因になります。

使用する前には、必ず、回転台システムの可動範囲（リミッター：回転の上限、下限、左端、右端）の設定を行ってください。

< ノート >

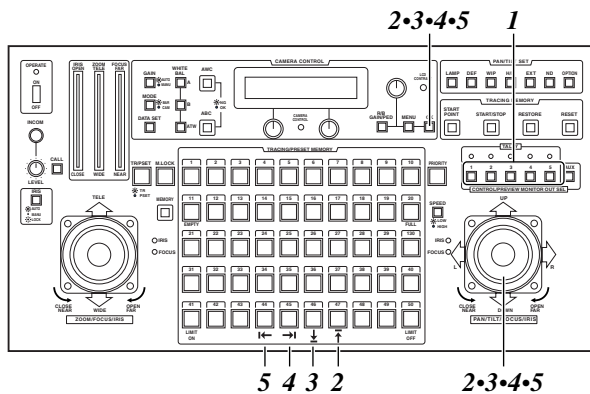
回転台を据え置きタイプで設置する場合、あらかじめ回転台内部の設置方向スwitch を据え置き設置に切り替えてください。（出荷時の設定は、吊り下げ設置に設定されています。）

この切り替えが行われないと、回転台の動作方向が逆転し、回転台の可動範囲の制限（リミッター）が正常にメモリーできません。切り替え方法等の詳細は、回転台の取扱説明書を参照してください。

1. CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SEL ボタンで回転台システムを選択します。
2. 可動範囲の上限位置を設定します。
 - ① コントロールパネルの PAN/TILT レバーを操作し、上限位置としたい位置までカメラを回転します。
 - ② コントロールパネルの OK ボタンを押したまま、TRACING/PRESET MEMORY ボタンの 47↑ を押します。
 - ③ ボタン 41 [LIMIT ON] が点灯すると設定完了です。
 - 設定を解除するときは、再び OK ボタンを押しながら、ボタン 47↑ を押します。設定が解除されるとボタン 50 [LIMIT OFF] が点灯します。
3. 可動範囲の下限位置を設定します。
 - ① PAN/TILT レバーを操作し、下限位置としたい位置までカメラを回転します。
 - ② OK ボタンを押したまま、ボタン 46↓ を押します。
 - ③ ボタン 41 [LIMIT ON] が点灯すると設定完了です。
 - 設定を解除するときは、再び OK ボタンを押しながら、ボタン 46↓ を押します。設定が解除されるとボタン 50 [LIMIT OFF] が点灯します。
4. 可動範囲の左端位置を設定します。
 - ① PAN/TILT レバーを操作し、左端位置としたい位置までカメラを回転します。
 - ② OK ボタンを押したまま、ボタン 44← を押します。
 - ③ ボタン 41 [LIMIT ON] が点灯すると設定完了です。
 - 設定を解除するときは、再び OK ボタンを押しながら、ボタン 44← を押します。設定が解除されるとボタン 50 [LIMIT OFF] が点灯します。

操作手順

- 可動範囲の右端位置を設定します。
 - PAN/TILT レバーを操作し、右端位置としたい位置までカメラを回転します。
 - OK ボタンを押したまま、ボタン 45 → を押します。
 - ボタン 41 [LIMIT ON] が点灯すると設定完了です。
 - 設定を解除するときは、再び OK ボタンを押しながら、ボタン 45 → を押します。設定が解除されるとボタン 50 [LIMIT OFF] が点灯します。
- CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SEL ボタンで回転台システムを切り替え、それぞれの回転台の可動範囲（リミッター）を設定します。



■ 映像信号の設定

本機では、使用する映像信号（コンポジット信号とコンポーネント信号）を設定する必要があります。この設定を行わないと、正しい映像信号が得られません。

- CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SEL ボタンで回転台システムを選択します。
- MENU ボタンを押して、ジョグダイヤル（メイン）を回して LCD パネルの上段に CONTROLLER SETTING の項目が表示するようにします。

CONTROLLER SETTING
 → OK Key

- OK ボタンを押します。
LCD パネルに下記の項目が表示されます。

SIGNAL SELECT
 C.VIDEO → C.VIDEO

- ジョグダイヤル（L）を回して映像入力信号（LCD パネル下段左の表示）を設定します。

コンポジット信号	: C.VIDEO
コンポーネント信号	: Y/Pr/Pb

<ノート>

映像入力信号にコンポーネント信号（Y/Pr/Pb）を使用する場合、コンバーチブルカメラに別売の RGB カード（AW-PB302）を搭載する必要があります。

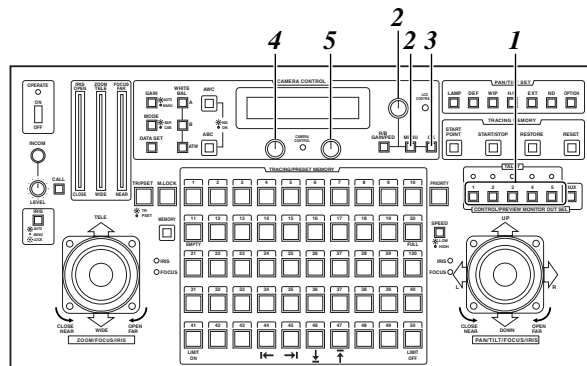
SIGNAL SELECT
 Y/Pr/Pb → C.VIDEO

- ジョグダイヤル（R）を回して映像出力信号（LCD パネル下段右の表示）を設定します。

<ノート>

映像入力信号にコンポジット信号（C.VIDEO）を設定した場合、映像出力信号にコンポーネント信号（Y/Pr/Pb）を設定することができません。

- CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SEL ボタンで回転台システムを切り替え、それぞれの回転台で使用する映像信号を設定します。



操作手順

■ 映像信号のケーブル補償

回転台から本機メインユニットまでのケーブルの長さによる、信号劣化の補正を行います。

回転台から本機メインユニットまでのケーブルの長さが500mを超えるときは、回転台内部のケーブル補償スイッチをONにします。

詳細は、回転台の取扱説明書を参照してください。

ケーブル補償の自動調整

- CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SEL ボタンで回転台システムを選択します。
- MENU ボタンを押し、ジョグダイヤル（メイン）を回して LCD パネルの上段に CABLE COMP の項目が表示するようにします。

CABLE COMP
→ OK Key

- OK ボタンを押します。
LCD パネルに下記の項目が表示されます。

CABLE COMP AUTO
START? → OK Key

- OK ボタンを押します。
現在選択されている回転台システムのケーブル補償の調整が開始され、OK ボタンが点滅します。
映像入力信号にコンポジット信号を設定している場合、コンバーチブルカメラからの出力信号が、カラーバー信号に切り替わり自動調整を行います。
映像入力信号にコンポーネント信号を設定している場合、コンバーチブルカメラからの出力信号が、Y/C 信号に切り替わり自動調整を行います。

CABLE COMP AUTO
AUTO ADJUST

- 調整が終了すると、OK ボタンが消灯します。
LCD パネルに下記の項目が表示されます。

CABLE COMP AUTO
ADJUST OK

- CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SEL ボタンで回転台システムを切り替え、それぞれの回転台システムでケーブル補償の調整を行います。

<ノート>

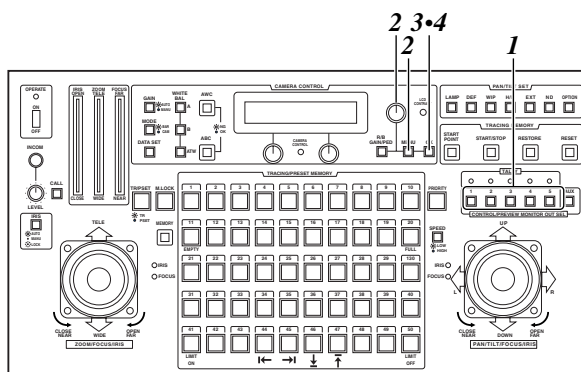
自動調整では、ある程度の誤差が生じる場合があります。
正確な調整が必要な場合は、マニュアル調整を行ってください。（次ページ参照）

自動調整が正しく行えなかった場合、LCD パネルに下記の項目が表示されます。

CABLE COMP AUTO
ADJUST NG

コンバーチブルカメラからの出力信号やケーブルの接続等を確認し、再度、自動調整を行ってください。

再度、自動調整を行っても自動調整が正しく行えなかった場合は、マニュアル調整を行ってください。
マニュアル調整を行っても正しく調整できない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。



操作手順

ケーブル補償のマニュアル調整

コンポジット信号を使用する場合

- CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SEL ボタンで回転台システムを選択します。
- 現在選択されている回転台システムに対応するメインユニットの VIDEO/Y OUT 端子にウェーブフォームモニターを接続します。
- MODE ボタンを押して BAR モードにし、コンバーチブルカメラからの出力信号をカラーバー信号に切り替えます。
- MENU ボタンを押し、ジョグダイヤル（メイン）を回して LCD パネルの上段に CABLE COMP の項目が表示するようにします。
- OK ボタンを押します。
LCD パネルに下記の項目が表示されます。
- ジョグダイヤル（メイン）を回して LCD パネルに下記の項目が表示するようにします。
- ジョグダイヤル（L）で輝度信号を調整し、ジョグダイヤル（R）で色信号を調整します。
輝度信号と色信号の調整を数回行い、下記の信号波形に合わせます。
- CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SEL ボタンで回転台システムを切り替え、それぞれの回転台システムでケーブル補償の調整を行います。

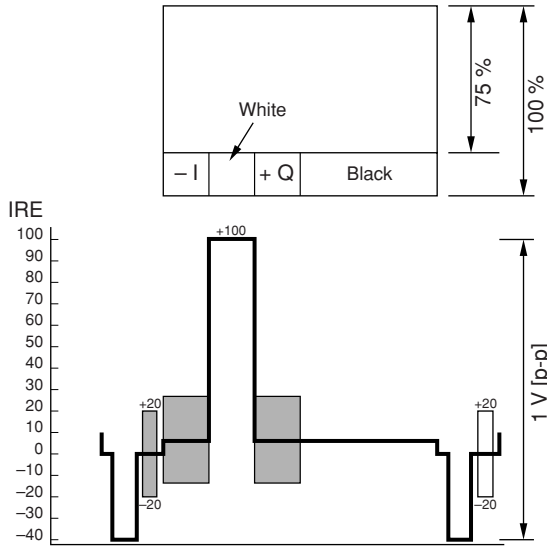
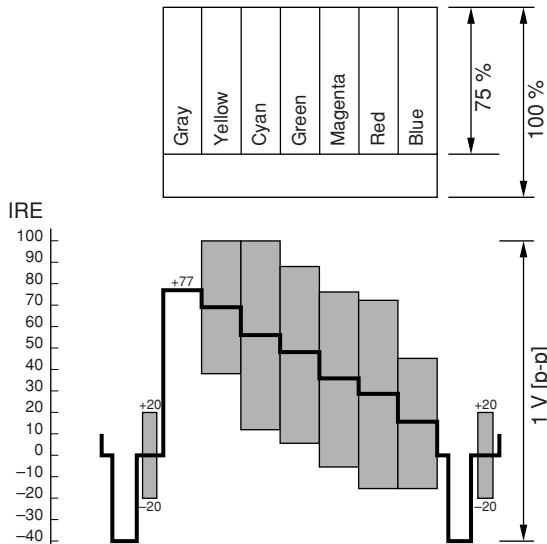
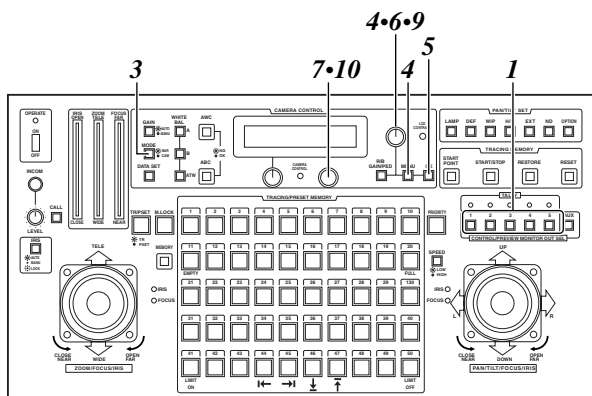
CABLE COMP
→ OK Key

- OK ボタンを押します。
LCD パネルに下記の項目が表示されます。

CABLE COMP AUTO
START? → OK Key

- ジョグダイヤル（メイン）を回して LCD パネルに下記の項目が表示するようにします。

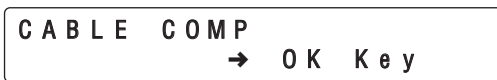
CABLE COMP MANUAL
Y : 0 C : 0



操作手順

コンポーネント信号を使用する場合

- CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SEL ボタンで回転台システムを選択します。
- 現在選択されている回転台システムに対応するメインユニットの VIDEO/Y OUT 端子にウェーブフォームモニターを接続します。
- MODE ボタンを押して BAR モードにし、コンバーチブルカメラからの出力信号をカラーバー信号に切り替えます。
- MENU ボタンを押し、ジョグダイヤル（メイン）を回して LCD パネルの上段に CABLE COMP の項目が表示するようにします。



- OK ボタンを押します。
LCD パネルに下記の項目が表示されます。



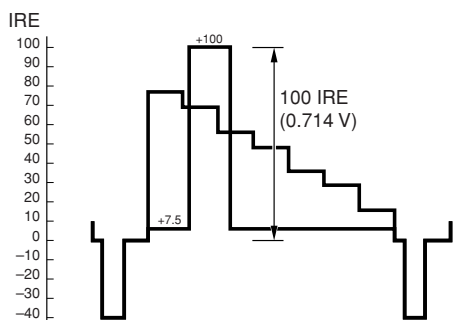
- ジョグダイヤル（メイン）を回して LCD パネルに下記の項目が表示するようにします。



<ノート>

映像出力信号にコンポジット信号を設定している場合、映像出力信号がコンポーネント信号に切り替わります。メニューを別の項目にすると、コンポジット信号に戻ります。

- ウェーブフォームモニターに表示される、白部分のレベルが 100 IRE (0.714V) になるように、ジョグダイヤル (R) で輝度信号を調整します。



ウェーブフォームモニター

- ウェーブフォームモニターの External reference 入力端子にメインユニットの VIDEO/Y OUT 端子を接続し、ウェーブフォームモニターの映像信号入力端子にメインユニットの Pr OUT 端子を接続します。

- ジョグダイヤル（メイン）を回して LCD パネルに下記の項目が表示するようにします。



<ノート>

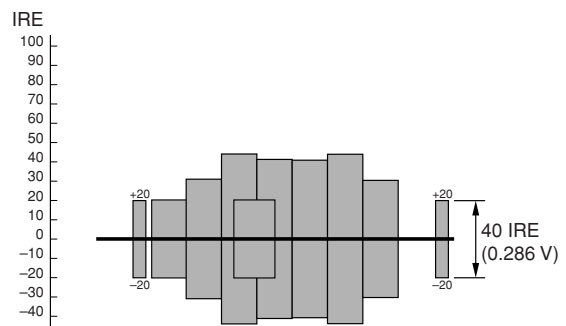
映像入力信号にコンポーネント信号を設定している場合、コンバーチブルカメラからの出力信号が Y/C 信号に切り替わり、Pr OUT 端子からクロマ信号が出力されます。

メニューを別の項目にすると、コンポーネント信号に戻ります。

- ウェーブフォームモニターに表示される、バーストレベルが 40 IRE (0.286V) になるように、ジョグダイヤル (R) で周波数特性を調整します。
輝度信号と周波数特性の調整を繰り返して行い、下記の信号波形に合わせます。

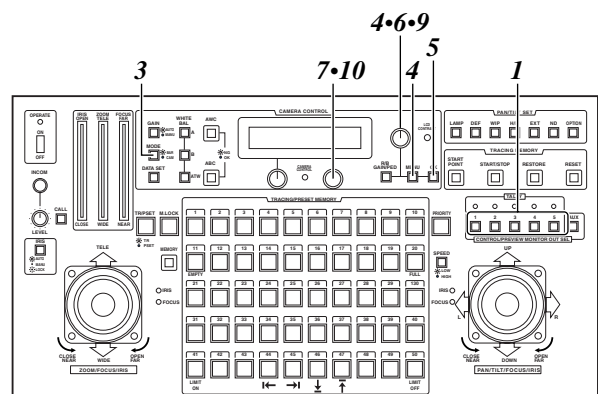
<ノート>

本機で行う周波数特性の調整では、カメラからの入力信号レベルよりも下げることができません。
回転台から本機メインユニットまでのケーブルの長さが短い場合、調整できないことがあります。



ウェーブフォームモニター

- CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SEL ボタンで回転台システムを切り替え、それぞれの回転台システムでケーブル補償の調整を行います。



操作手順

■ ゲンロック調整

カメラを外部信号に同期させて使用する場合、他の機器やカメラのゲンロック調整を行う必要があります。

外部同期信号には、ブラックバースト信号やVBS (Video Burst and Sync Signal) を使用します。

カメラを外部信号に同期させない場合、ゲンロック調整は必要ありません。

ケーブル長さの補正

回転台システムの G/L IN 端子とメインユニットの G/L OUT 端子を接続するゲンロック信号用のケーブル長さに合わせて、ゲンロック信号の時間調整をします

1. CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SEL ボタンで回転台システムを選択します。
2. MENU ボタンを押し、ジョグダイヤル（メイン）を回して LCD パネルの上段に G/L SETTING の項目が表示するようにします。

G / L SETTING
→ OK Key

3. OK ボタンを押します。
LCD パネルに下記の項目が表示されます。

CABLE LENGTH
SHORT

4. ゲンロック信号用のケーブル長さをジョグダイヤル（R）で設定します。

500メートルまで : SHORT
500メートル以上 : LONG

CABLE LENGTH
SHORT

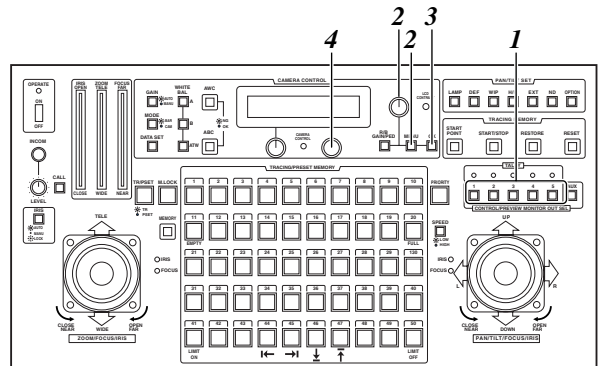
CABLE LENGTH
LONG

<ノート>

SHORT に設定した場合、メインユニットに入力されたゲンロック信号と同じ位相の信号を回転台システムに送信します。

LONG に設定した場合、メインユニットに入力されたゲンロック信号に時間調整を行い、回転台システムに送信します。

5. CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SEL ボタンで回転台システムを切り替え、それぞれの回転台で使用するケーブル長さを設定します。



操作手順

水平位相調整

- CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SEL ボタンで回転台システムを選択します。
- メインユニットの G/L IN 端子にゲンロック信号を入力し、ループスルー端子と現在選択されている回転台システムに対応するメインユニットの VIDEO/Y OUT 端子に 2 現象オシロスコープを接続します。
- MENU ボタンを押し、ジョグダイヤル（メイン）を回して LCD パネルの上段に G/L SETTING の項目が表示するようにします。

G / L SETTING
→ OK Key

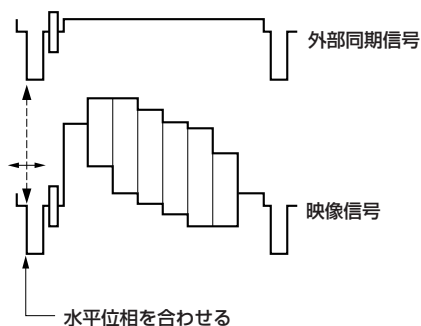
- OK ボタンを押します。
LCD パネルに下記の項目が表示されます。

CABLE LENGTH
SHORT

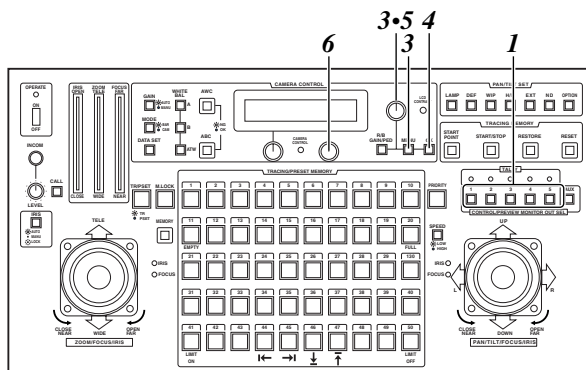
- ジョグダイヤル（メイン）を回して LCD パネルに下記の項目が表示するようにします。

H PHASE
± 0

- ジョグダイヤル（R）でオシロスコープの映像信号波形と外部同期信号波形の水平位相を合わせます。



- CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SEL ボタンで回転台システムを切り替え、それぞれの回転台システムで水平位相調整を行います。



操作手順

サブキャリア位相調整

映像入力信号にコンポジット信号を設定したときに、ビデオスイッチャー等で映像を切り替える場合、サブキャリア位相調整が必要です。

コンポーネント信号を設定した場合は、調整の必要がありません。

- CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SEL ボタンで回転台システムを選択します。
- 現在選択されている回転台システムに対応するメインユニットの VIDEO/Y OUT 端子にビデオスイッチャー等を接続し、ビデオスイッチャー等の映像出力端子にカラーモニターを接続します。
- MODE ボタンを押して BAR モードにし、コンバーチブルカメラからの出力信号をカラーバー信号に切り替えます。
- MENU ボタンを押し、ジョグダイヤル（メイン）を回して LCD パネルの上段に G/L SETTING の項目が表示するようにします。

G / L SETTING
→ OK Key

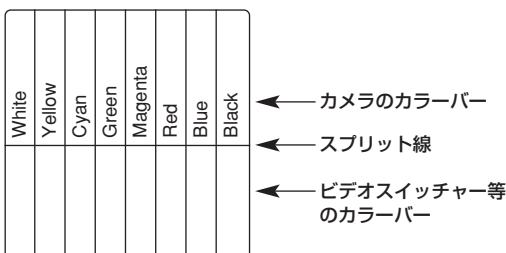
- OK ボタンを押します。
LCD パネルに下記の項目が表示されます。

CABLE LENGTH
SHORT

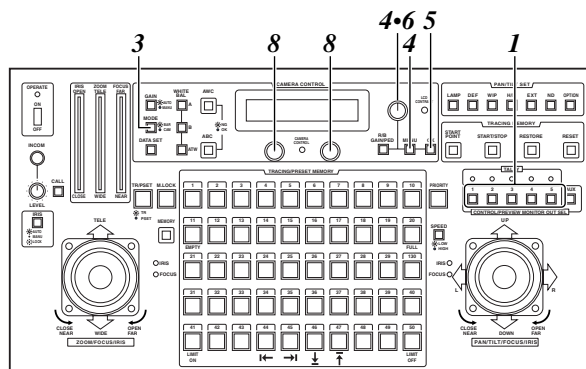
- ジョグダイヤル（メイン）を回して LCD パネルに下記の項目が表示するようにします。

SC PHASE
COARSE : 1 FINE : ± 0

- 基準とするカラーバー信号（ビデオスイッチャー等が内蔵している信号）と、カメラからのカラーバー信号の両方をカラーモニターに出力します。
- 基準とするカラーバー信号にカメラからのカラーバー信号の位相を合わせます。
ジョグダイヤル（L）で 90 度単位の調整を行い、ジョグダイヤル（R）で微調整を行います。



- CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SEL ボタンで回転台システムを切り替え、それぞれの回転台システムでサブキャリア位相調整を行います。



操作手順

■ トータルペDESTALの調整

複数台のカメラを使用する場合、各カメラが撮影する映像の黒レベル（ペDESTALレベル）を合わせる必要があります。

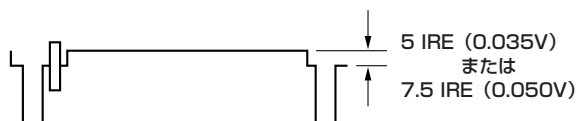
1. CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SEL ボタンで回転台システムを選択します。
2. 現在選択されている回転台システムに対応するメインユニットのVIDEO/Y OUT 端子にウェーブフォームモニターを接続します。
3. IRIS ボタンを押して MANU モード（IRIS ボタンが消灯）にし、FOCUS/IRIS ダイヤルでレンズアイリスを絞り込みます。
4. R/B GAIN/PED ボタンを押し、LCD パネルに下記の項目が表示するようにします。

PEDESTAL TOTAL ± 0
R : ± 0 B : ± 0

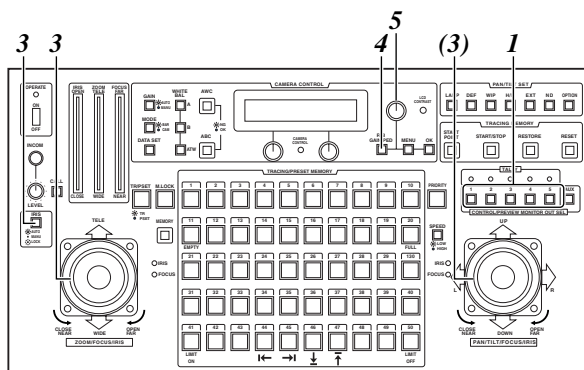
5. ジョグダイヤル（メイン）で黒レベルが 5 IRE (0.035V) または、7.5 IRE (0.050V) になるように調整します。

<ノート>

黒レベルの調整は、使用する機器に合わせてください。



6. CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SEL ボタンで回転台システムを切り替え、それぞれの回転台システムで黒レベルの調整を行います。



操作手順

■ ホワイトバランスの調整

初めて使うときや長時間使わなかったとき、また、照明条件や明るさが変わったときにホワイトバランスの調整が必要です。

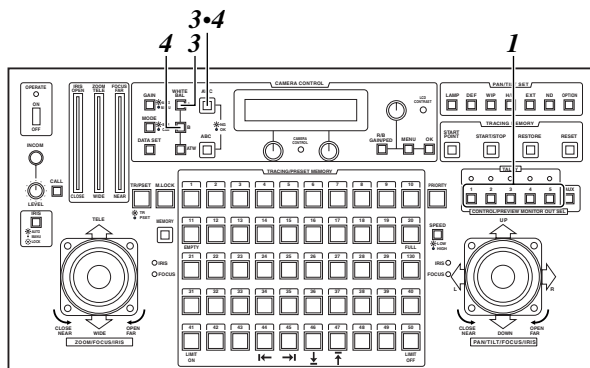
Ach と Bch の 2 ヶ所に、ホワイトバランスの条件をあらかじめ登録しておくことができます。

設定内容と同じ条件下で使用する場合、一度調整しておくことで WHITE BAL の A ボタンや B ボタンを押すだけで設定されますので、改めて調整する必要はありません。

新たに調整すると以前の登録内容は消去され、新しく設定された条件になります。

ホワイトバランスの自動調整

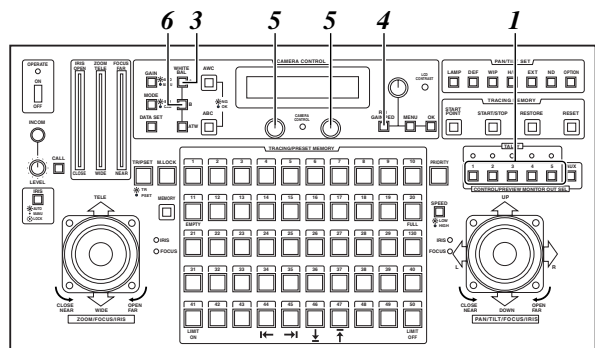
- CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SEL ボタンで回転台システムを選択します。
- 現在選択されている回転台システムで、白い被写体（白壁や白いハンカチなど）を画面一杯に映します。
<ノート>
画面に光ったものや高輝度の被写体が入らないようにしてください。
- WHITE BAL の A ボタンを押して AWC ボタンを押します。
AWC ボタンが点滅し、ホワイトバランスを自動調整します。調整が正常に終了すると消灯し、Ach に設定条件を登録します。
調整ができなかった場合は、AWC ボタンが点灯し続けます。明るさ、絞り、被写体、光源等を変えて調整し直してください。
<ノート>
AW-PH350 以外の回転台を使用しているときは、正常に調整されなかったときも消灯します。
- 同様に WHITE BAL の B ボタンで、Bch の設定条件を登録します。
- CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SEL ボタンで回転台システムを切り替え、それぞれの回転台システムでホワイトバランスの調整を行います。



ホワイトバランスのマニュアル調整

- 自動調整と同様に CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SEL ボタンで回転台システムを選択し、白い被写体を画面一杯に映します。
- 現在選択されている回転台システムに対応するメインユニットの VIDEO/Y OUT 端子にウェーブフォームモニターやカラーモニターを接続します。
- WHITE BAL の A ボタンを押して Ach のメモリーを選択します。
- R/B GAIN/PED ボタンを押し、LCD パネルに下記の項目が表示するようにします。

G A I N	0 d B
R : ± 0	B : ± 0
- ジョグダイヤル (L) で Rch (赤) のゲインを調整し、ジョグダイヤル (R) で Bch (青) のゲインを調整します。
- 同様に WHITE BAL の B ボタンで、Bch の設定条件をメモリーします。
- CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SEL ボタンで回転台システムを切り替え、それぞれの回転台システムでホワイトバランスの調整を行います。



自動色温度追尾 (ATW)

撮影時に WHITE BAL の ATW ボタンを押すと、ATW ボタンが点灯し、光源や、色温度が変わってもホワイトバランスを合わせるように自動補正して、違和感の少ない映像になります。

<ノート>

画面上に白がない場合、ホワイトバランスが適切に補正補正できないことがあります。

また、光源や色温度により、ホワイトバランスが適切に補正できないことがあります。

操作手順

■ ブラックバランスの調整

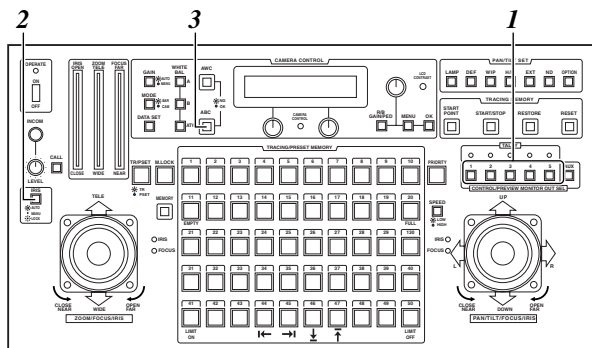
初めて使うときや長時間使わなかったとき、また、周囲温度が大幅に変わったときや季節の変わり目などにブラックバランスの調整が必要です。

設定内容と同じ条件下で使用する場合、改めて調整する必要はありません。

新たに調整すると以前のメモリー内容は消去され、新しく設定された条件になります。

ブラックバランスの自動調整

- CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SEL ボタンで回転台システムを選択します。
 - IRIS ボタンを押し、現在選択されている回転台システムを AUTO モード (IRIS ボタンが点灯) にします。
 - ABC ボタンを押します。
ABC ボタンが点滅し、レンズアイリスを自動的に絞り込んでブラックバランスを自動調整します。調整が正常に終了すると消灯し、設定条件をメモリーします。調整ができなかった場合は、ABC ボタンが点灯し続けます。再度、調整してください。
- < ノート >
- トータルペDESTALが低すぎるときは、調整できないことがあります。トータルペDESTALを調整し直して、再度ブラックバランスの調整を行ってください。
 - AW-PH350 以外の回転台を使用しているときは、正常に調整されなかったときも消灯します。
- CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SEL ボタンで回転台システムを切り替え、それぞれの回転台システムでブラックバランスの調整を行います。

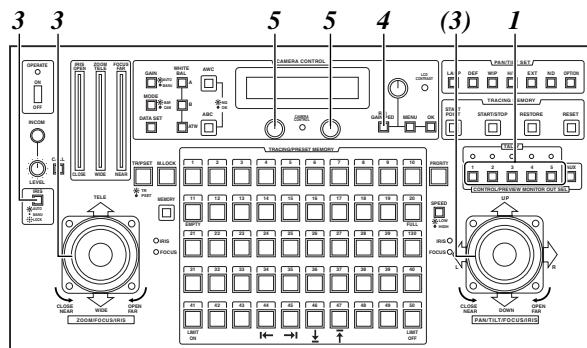


ブラックバランスのマニュアル調整

- CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SEL ボタンで回転台システムを選択します。
- 現在選択されている回転台システムに対応するメインユニットの VIDEO/Y OUT 端子にウェーブフォームモニターやカラーモニターを接続します。
- IRIS ボタンを押して MANU モード (IRIS ボタンが消灯) にし、FOCUS/IRIS ダイヤルでレンズアイリスを絞り込みます。
- R/B GAIN/PED ボタンを押し、LCD パネルに下記の項目が表示するようにします。

PEDESTAL	TOTAL	± 0	
R :	± 0	B :	± 0

- ジョグダイヤル (L) で Rch (赤) のペDESTALを調整し、ジョグダイヤル (R) で Bch (青) のペDESTALを調整します。
- CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SEL ボタンで回転台システムを切り替え、それぞれの回転台システムでブラックバランスの調整を行います。



操作手順

■ トレーシングメモリーの設定

本機には、回転台システムが動作する軌跡を登録する、トレーシングメモリー機能があります。
トレーシングメモリーは、TRACING/PRESET MEMORY ボタンの 1～10 に登録します。

記録時間とメモリー数の設定

1. CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SEL ボタンで回転台システムを選択します。

2. MENU ボタンを押し、ジョグダイヤル（メイン）を回して LCD パネルの上段に CONTROLLER SETTING の項目が表示するようにします。

CONTROLLER SETTING
→ OK Key

3. OK ボタンを押します。

LCD パネルに下記の項目が表示されます。

SIGNAL SELECT
C.VIDEO → C.VIDEO

4. ジョグダイヤル（メイン）を回して LCD パネルに下記の項目が表示するようにします。

MEMORY LENGTH SELECT
30 s

5. トレーシングメモリーの記録時間とメモリー数をジョグダイヤル（R）で設定します。

30s : 30 秒 × 10 メモリー（ボタン 1～10）

60s : 60 秒 × 5 メモリー（ボタン 1～5）

150s : 150 秒 × 2 メモリー（ボタン 1、2）

300s : 300 秒 × 1 メモリー（ボタン 1）

MEMORY LENGTH SELECT
30 s

MEMORY LENGTH SELECT
60 s

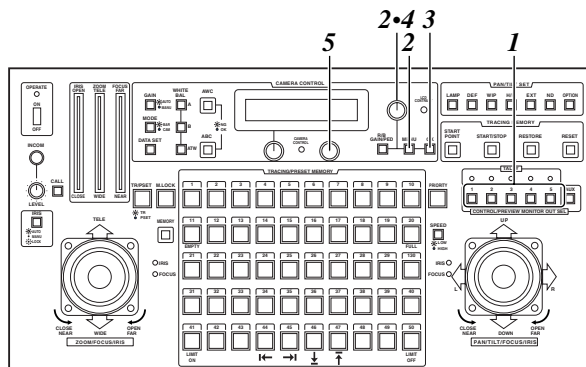
MEMORY LENGTH SELECT
150 s

MEMORY LENGTH SELECT
300 s

<ノート>

- トレーシングメモリーが既に登録されているときは、記録時間とメモリー数を設定することができません。設定し直す場合は、登録済みのトレーシングメモリーを消去してから行ってください。
- 記録時間とメモリー数を設定すると、登録するボタン毎に設定を変えることができません。

6. CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SEL ボタンで回転台システムを切り替え、それぞれの回転台システムで記録時間とメモリー数を設定します。



操作手順

トレーシングメモリーの登録

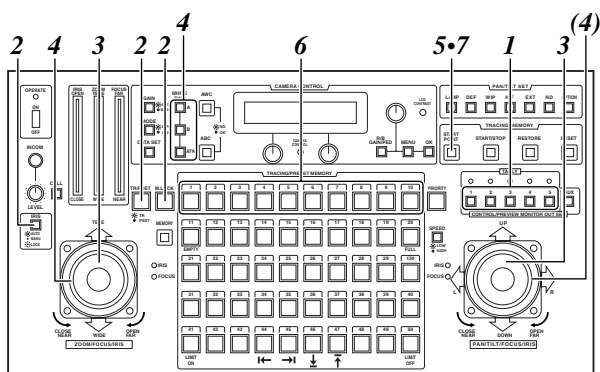
- CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SEL ボタンで回転台システムを選択します。
- 下記のボタンでモードを設定します。
 - IRIS ボタンを押し、MANU モード (IRIS ボタンが消灯) にします。
AUTO モードの場合、レンズアイリスのポジションが登録されません。
 - TR/PSET ボタンを押し、トレーシングメモリーモード (TR/PSET ボタンが点灯) にします。
 - M. LOCK ボタンを押し、メモリー記録モード (M. LOCK ボタンが消灯) にします。
- ZOOM レバーと PAN/TILT レバーを操作して、撮影する映像をモニターで確認します。
- ホワイトバランスを A/B/ATW の各ボタンから選択し、レンズアイリスを FOCUS/IRIS ダイヤルで調整します。
- START POINT ボタンを押します。
TRACING/PRESET MEMORY ボタン 1 ~ 10 の中で登録できるボタンが点灯します。

<ノート>

消灯しているボタンは、既に登録されているボタンです。
消灯しているボタンに登録する場合、一度メモリーを消去してから登録してください。

- 登録するボタンを押します。
押したボタンだけが点灯し、トレーシングメモリーの開始位置として記録します。
- ### <ノート>
- この時点で PAN/TILT レバーを操作すると、登録モードをキャンセルします。

- START/STOP ボタンを押します。
START/STOP ボタンが点滅し、記録待機状態になります。
- ### <ノート>
- この時点で START/STOP ボタンを押すと、登録モードをキャンセルします。



- パン、チルト、ズーム、フォーカス、アイリス、ホワイトバランスモード選択のいずれかを動かした時点で、トレーシングメモリーの記録を開始しますので、登録する操作を行ってください。

START/STOP ボタンが点滅から点灯に変わり、メモリーできる時間の目安として、TRACING/PRESET MEMORY ボタンの 11 ~ 30 が点灯します。

No. 11 から 20 のボタンひとつが、約 3 秒を表し、No. 21 から 30 のボタンひとつが約 30 秒を表します。

No. 20 のボタンから約 3 秒ごとに消灯していき、記録可能なメモリの残り時間を表示します。

No. 11 のボタンが消灯した時点で、ブザーが鳴り、トレーシングメモリーの登録が終了します。

<ノート>

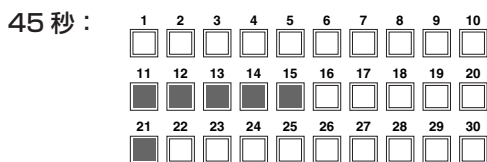
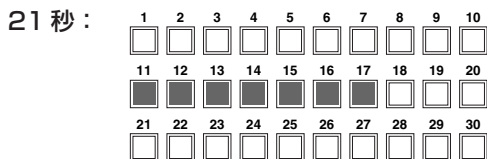
- トレーシングメモリーの記録を中断するときは、START/STOP ボタンを押します。
中断した時点までの操作が、トレーシングメモリーとして登録されます。
- ブザーはトレーシングメモリーの記録開始、中断、登録時に鳴ります。

- 必要に応じて、他の操作をトレーシングメモリーとして、TRACING/PRESET MEMORY ボタン 1 ~ 10 に登録します。

- CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SEL ボタンで回転台システムを切り替え、それぞれの回転台システムでトレーシングメモリーを設定します。

残り時間の表示例

■ : ボタンの点灯を示します。



トレーシングメモリーを登録した場合、回転台のメモリーにも情報が書き込まれますので、回転台を取り替えた場合は、新たにトレーシングメモリーを登録し直してください。

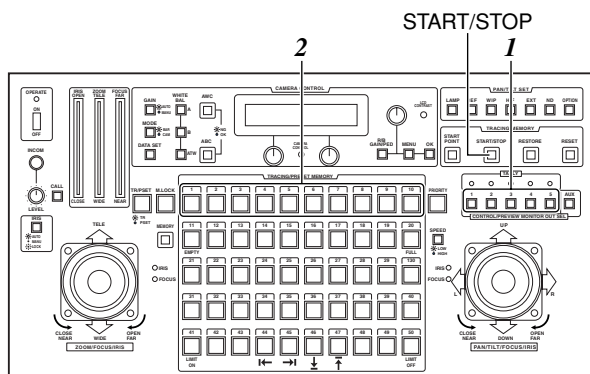
操作手順

トレーシングメモリの再生

1. CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SEL ボタンで回転台システムを選択します。
2. 再生するトレーシングメモリーが登録されているボタンを押します。
回転台システムが、トレーシングメモリーに登録されている開始位置の状態になります。
3. 回転台システムがトレーシングメモリー開始位置の状態になり停止してから、再度、トレーシングメモリーが登録されているボタンを押します。
回転台システムが、登録されているトレーシングメモリーの動作を開始します。

< ノート >

- 回転台に AW-PH350 を使用した場合、開始位置の状態になる前にトレーシングメモリーが登録されているボタンを押しても動作を受け付けません。
AW-PH350 以外の回転台を使用した場合は、開始位置の状態になる前にトレーシングメモリーが登録されているボタンを押すと、ボタンが押された位置から再度メモリーされている軌跡の動作を行います。
必ず、開始位置の状態になり停止してから、トレーシングメモリーが登録されているボタンを押してください。
- トレーシングメモリーの再生を中断するときは、START/STOP ボタンを押します。
また、パン、チルト、ズーム、フォーカスのいずれかを動かした時点でも再生を中断できます。
- ブザーはトレーシングメモリーの再生開始、中断、終了時に鳴ります。



トレーシングメモリーの修正

1. CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SEL ボタンで回転台システムを選択します。
2. 修正するトレーシングメモリーが登録されているボタンを押し、トレーシングメモリーの開始位置を呼び出します。

3. RESTORE ボタンを押します。
RESTORE ボタンが点滅し、トレーシングメモリーの開始位置の設定が修正できます。

< ノート >

この時点で START/STOP ボタンを押すと、修正モードをキャンセルします。

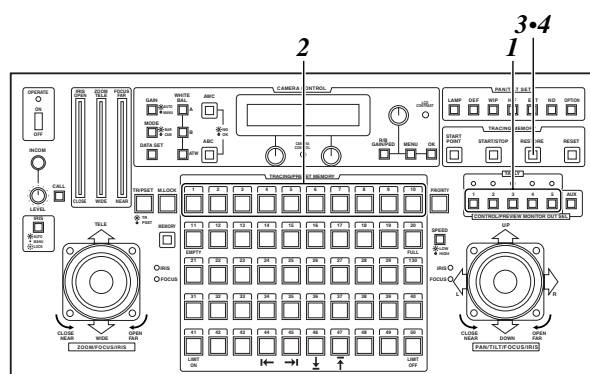
4. 再度 RESTORE ボタンを押します。
回転台システムが、登録されているトレーシングメモリーの動作を開始し、RESTORE ボタンが点滅から点灯に変わります。
また、登録時と同様に 11 ~ 30 のボタンが、時間の目安として機能します。

5. トレーシングメモリーの動作を修正します。

< ノート >

トレーシングメモリーの動作を部分的に修正することはできません。修正した時点から、最後まで登録し直してください。

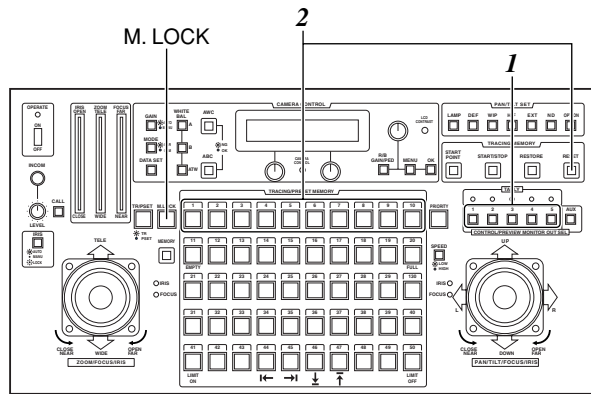
6. No.11 のボタンが消灯した時点で、ブザーが鳴り、トレーシングメモリーの修正が終了します。



操作手順

トレーシングメモリーの消去

1. CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SEL ボタンで回転台システムを選択します。
2. RESET ボタンを押したまま、消去するトレーシングメモリーが登録されているボタンを押します。
<ノート>
RESET ボタンを押したときにトレーシングメモリーが登録されているボタン (TRACING/PRESET MEMORY ボタンの 1 ~ 10) が点灯します。
3. ボタンが消灯し、トレーシングメモリーが消去されます。
<ノート>
M. LOCK ボタンが点灯しているときは、消去できません。



操作手順

■ プリセットメモリーの設定

本機には、回転台システムが撮影する位置と設定を登録する、プリセットメモリー機能があります。プリセットメモリーは、TRACING/PRESET MEMORY ボタンの 1～50 に登録します。

プリセットメモリーの登録

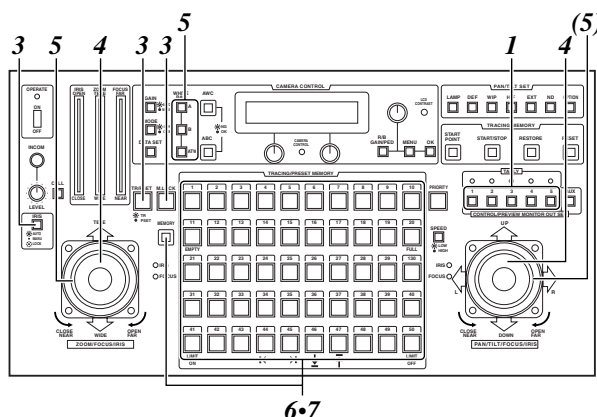
- CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SEL ボタンで回転台システムを選択します。
- 現在選択されている回転台システムに対応するメインユニットの VIDEO/Y OUT 端子にカラーモニターを接続します。
- 下記のボタンでモードを設定します。
 - IRIS ボタンを押し、MANU モード（IRIS ボタンが消灯）にします。
AUTO モードの場合、レンズアイリスのポジションが登録されません。
 - TR/PSET ボタンを押し、プリセットメモリーモード（TR/PSET ボタンが消灯）にします。
 - M. LOCK ボタンを押し、メモリー記録モード（M. LOCK ボタンが消灯）にします。
- ZOOM レバーと PAN/TILT レバーを操作して、撮影する映像をモニターで確認します。
- ホワイトバランスを A/B/ATW の各ボタンから選択し、レンズアイリスを FOCUS/IRIS ダイアルで調整します。

- MEMORY ボタンを押したままの状態にします。
MEMORY ボタンを押したときに、TRACING/PRESET MEMORY ボタン 1～50 の中で、登録できるボタンが順次点滅を開始します。

<ノート>

消灯しているボタンは、既にトレーシングメモリーが登録されているボタンです。プリセットメモリーは登録できません。

- MEMORY ボタンを押したままの状態、プリセットメモリーを登録するボタンを押します。
- 必要に応じて、他の撮影位置と設定をプリセットメモリーとして、TRACING/PRESET MEMORY ボタン 1～50 に登録します。
- CONTROL/PREVIEW MONITOR OUT SEL ボタンで回転台システムを切り替え、それぞれの回転台システムでプリセットメモリーを設定します。



設定メニュー

G/L SETTING

—	CABLE LENGTH	[SHORT]
▶	H PHASE	[± 0]
▶	SC PHASE	[COARSE: 1, FINE: ± 0]

COARSE の設定値は、ジョグダイヤルを押して、設定値が変化する速度を切り替えることができません。

CABLE COMP

—	CABLE COMP AUTO
▶	CABLE COMP MANUAL (Y, C)
▶	CABLE COMP MANUAL (Y Level)
▶	CABLE COMP MANUAL (f Response)

CONTROLLER SETTING

—	SIGNAL SELECT	[C. VIDEO → C. VIDEO]
—	BUZZER SET	[ON]
—	EXT CONTROL OUT	[OFF]
—	COMPONENT	[Y/Pr/Pb] ← COMPONENT の項目は、OPTION CARD スロットに RGB カード (AW-PB302) を装着したときに表示されます。
—	MEMORY LENGTH	[30s]
—	HEAD SW (R) FUNCTION	[OFF]
—	VIRTUAL STUDIO MODE	[OFF]

P/T SETTING

—	PAN DIRECTION	[NORMAL]
—	TILT DIRECTION	[NORMAL]
—	ZOOM DIRECTION	[NORMAL]
—	FOCUS DIRECTION	[NORMAL]
—	IRIS DIRECTION	[NORMAL]
—	SPEED SELECT (PAN)	[HIGH: FAST, LOW: FAST]
—	SPEED SELECT (TILT)	[HIGH: FAST, LOW: FAST]
—	SPEED SELECT (ZOOM)	[HIGH: FAST, LOW: FAST]
—	SPEED SELECT (FOCUS)	[HIGH: FAST, LOW: FAST]
—	SPEED WITH ZOOM POS.	[OFF]
—	DIAGONAL MOTION	[OFF]
—	DIAGONAL SPEED	[30]

< ノート >

- [] 内は、出荷時の設定です。
- ▶ マークが付いている項目は、ジョグダイヤルを押す毎に、設定値が変化する速度を切り替えることができる項目です。ただし、別売のコントロールパネル AW-RP615 では、この機能が働かない場合があります。

設定メニュー

CAMERA SETTING

SCENE [USER]

USER		HALOGEN		FLOURECENT		OUTDOOR		
—	SHUTTER	[OFF]	—	SHUTTER	[OFF]	—	SHUTTER	[OFF]
—	DETAIL	[HIGH]	—	DETAIL	[HIGH]	—	DETAIL	[HIGH]
▶	PICTURE LEVEL	[± 0]	▶	PICTURE LEVEL	[± 0]	▶	PICTURE LEVEL	[± 0]
▶	LIGHT PEAK/AVG	[0]	▶	LIGHT PEAK/AVG	[0]	▶	LIGHT PEAK/AVG	[0]
—	LIGHT AREA	[TOP CUT]	—	LIGHT AREA	[TOP CUT]	—	LIGHT AREA	[TOP CUT]
▶	S/S FREQUENCY	[60.34 Hz]	▶	S/S FREQUENCY	[60.34 Hz]	▶	S/S FREQUENCY	[60.34 Hz]
—	CHROMA LEVEL	[± 0]	—	CHROMA LEVEL	[± 0]	—	CHROMA LEVEL	[± 0]
—	HIGH LIGHT CHROMA	[OFF]	—	HIGH LIGHT CHROMA	[OFF]	—	HIGH LIGHT CHROMA	[OFF]
—	COLOR BAR SET	[7.5 IRE]	—	COLOR BAR SET	[7.5 IRE]	—	COLOR BAR SET	[7.5 IRE]
—	DETAIL FLESH TONE	[MID]	—	DETAIL FLESH TONE	[MID]	—	DETAIL FLESH TONE	[MID]
—	NEGA/POSI	[POSI]	—	NEGA/POSI	[POSI]	—	NEGA/POSI	[POSI]
—	CLEAN DNR	[OFF]	—	CLEAN DNR	[OFF]	—	CLEAN DNR	[OFF]
—	ASPECT RATIO	[16:9]	—	ASPECT RATIO	[16:9]	—	ASPECT RATIO	[16:9]
—	FAN	[ON]	—	FAN	[ON]	—	FAN	[ON]
—	ATW SPEED	[MIDDLE]	—	ATW SPEED	[MIDDLE]	—	ATW SPEED	[MIDDLE]
—	FIELD/FRAME	[FIELD]	—	CONTRAST (GAMMA)	[MID]	—	CONTRAST (GAMMA)	[MID]
—	2D LPF	[OFF]	—	FLESH TONE	[± 0]	—	FLESH TONE	[± 0]
—	H DETAIL LEVEL H	[+24] ※	—	DETAIL SELECT	[NORMAL]	—	DETAIL SELECT	[NORMAL]
—	V DETAIL LEVEL H	[+7] ※	—	NOISE SUPPRESS	[OFF]	—	NOISE SUPPRESS	[OFF]
—	H DETAIL LEVEL L	[+12] ※	—	V RESOLUTION	[NORMAL]	—	V RESOLUTION	[NORMAL]
—	V DETAIL LEVEL L	[+4] ※	—	ZEBRA INDICATOR	[OFF]	—	ZEBRA INDICATOR	[OFF]
—	DETAIL BAND	[5] ※	—	ZEBRA L LEVEL	[70%]	—	ZEBRA L LEVEL	[70%]
—	NOISE SUPPRESS	[0]	—	ZEBRA H LEVEL	[85%]	—	ZEBRA H LEVEL	[85%]
—	LEVEL DEPENDENT	[0%]	—	SAFETY ZONE	[1]	—	SAFETY ZONE	[1]
—	DARK DETAIL	[0]	—	EVF OUTPUT	[Y]	—	EVF OUTPUT	[Y]
—	CHROMA DETAIL	[0]	—	COMPONENT	[Y/Pr/Pb]	—	COMPONENT	[Y/Pr/Pb]
—	CORNER DETAIL	[OFF]	—	CHARGE TIME	[AUTO]	—	CHARGE TIME	[AUTO]
—	PRECISION DETAIL	[OFF]	—	AGC MAX LEVEL	[18 dB]	—	AGC MAX LEVEL	[18 dB]
▶	MATRIX (R-G)	[± 0]						
▶	MATRIX (R-B)	[± 0]						
▶	MATRIX (G-R)	[± 0]						
▶	MATRIX (G-B)	[± 0]						
▶	MATRIX (B-R)	[± 0]						
▶	MATRIX (B-G)	[± 0]						
—	GAMMA	[0.45]						
—	KNEE POINT	[88%]						
—	WHITE CLIP	[110%]						
▶	FLARE R	[0]						
▶	FLARE G	[0]						
▶	FLARE B	[0]						
—	BLACK STRETCH	[OFF]						
—	ZEBRA INDICATOR	[OFF]						
—	ZEBRA L LEVEL	[70%]						
—	ZEBRA H LEVEL	[85%]						
—	SAFETY ZONE	[1]						
—	EVF OUTPUT	[Y]						
—	COMPONENT	[Y/Pr/Pb]						
—	CHARGE TIME	[AUTO]						
—	AGC MAX LEVEL	[18 dB]						

< ノート >

- [] 内は、出荷時の設定です。
- [] の右に※マークが付いている項目は、カメラとして AW-E800A を使用することを基準にした設定値です。他のカメラを使用する場合は、使用するカメラの初期値に変更してください。
- ▶ マークが付いている項目は、ジョグダイヤルを押す毎に、設定値が変化する速度を切り替えることができる項目です。ただし、別売のコントロールパネル AW-RP615 では、この機能が働かない場合があります。

設定メニュー

G/L SETTING (ゲンロック調整)メニュー

CABLE LENGTH (SHORT, LONG)

ゲンロック信号用 BNC ケーブルの長さ補正を設定します。G/L 用の BNC ケーブルが 500m 未満のときは SHORT に設定し、500m 以上のときは LONG に設定します。

H PHASE (- 206 ~ + 49)

ゲンロック時の水平位相を調整します。

SC PHASE (1, 2, 3, 4, - 511 ~ + 511)

ゲンロック時の色位相を調整します。

CABLE COMP (ケーブル補償)メニュー

CABLE COMP AUTO

この項目を選択して OK ボタンを押すと、ケーブル補償を自動で調整します。

ウェーブフォームモニターやベクトルスコープモニターなどの測定器が無い場合や、簡易調整をするときに行ってください。

CABLE COMP MANUAL (Y : 0 ~ 255, C : 0 ~ 255)

CONTROLLER SETTING メニューの SIGNAL SELECT 項目で入力信号に C. VIDEO が設定されているとき、ケーブル補償を手動で調整します。

CABLE COMP MANUAL Y LEVEL (0 ~ 255)

CONTROLLER SETTING メニューの SIGNAL SELECT 項目で入力信号に Y/Pr/Pb が設定されているとき、レベル補正を手動で調整します。

この項目を選択すると、自動的に本機の映像出力信号が Y/Pr/Pb になります。この項目が解除されると、元の映像出力信号に戻ります。

CABLE COMP MANUAL f Responce (0 ~ 255)

CONTROLLER SETTING メニューの SIGNAL SELECT 項目で入力信号に Y/Pr/Pb が設定されているとき、周波数特性の補正を手動で調整します。

この項目を選択すると、自動的にカメラからの出力信号を Y/C 信号にし、本機の映像出力信号を Y/Pr/Pb にします。Pr 出力信号でバーストレベルを調整することにより、周波数特性の補正を行います。この項目が解除されると、元の映像出力信号に戻ります。

CONTROLLER SETTING (コントローラー設定)メニュー

SIGNAL SELECT (C. VIDEO \leftrightarrow C. VIDEO、Y/Pr/Pb \leftrightarrow C. VIDEO、Y/Pr/Pb \leftrightarrow Y/Pr/Pb)

本機の入力信号と出力信号を設定します。本機への入力信号を C. VIDEO (コンポジット信号) に設定した場合、出力信号も C. VIDEO に固定されます。本機への入力信号を Y/Pr/Pb (コンポーネント信号) に設定した場合、出力信号は Y/Pr/Pb と C. VIDEO から選択できます。

BUZZER SET (ON/OFF)

コントロールパネルに内蔵されているブザーの ON/OFF を設定します。OFF に設定するとブザーが鳴りません。ブザーは CALL ボタンを押したときや、トレーシングメモリー操作 (記録・再生・修正) の開始・中断・登録を行うときに鳴ります。

EXT CONTROL OUT (ON/OFF)

ON に設定すると、回転台システムの制御信号が、機能拡張用の EXTERNAL CONTROL OUT 端子より出力されます。

現在はサポートされておりません。OFF の設定で使用してください。

COMPONENT (RGB、Y/Pr/Pb、Y/C)

OPTION CARD スロットに RGB カード (AW-PB302) を装着したときに、出力する映像信号を選択します。

MEMORY LENGTH (30s、60s、150s、300s)

トレーシングメモリーの記録時間とメモリー数を設定します。

30s : 30 秒 × 10 メモリー

60s : 60 秒 × 5 メモリー

150s : 150 秒 × 2 メモリー

300s : 300 秒 × 1 メモリー

< ノート >

トレーシングメモリーが既に登録されているときは、記録時間とメモリー数を設定することができません。

設定し直す場合は、登録済みのトレーシングメモリーを消去してから行ってください。

HEAD SW (R) FUNCTION (ON/OFF)

ON に設定すると、PAN/TILT レバーの天面にあるボタンで行う、調整ダイヤルの機能切り替え (IRIS と FOCUS) ができなくなります。

現在はサポートされておりません。OFF の設定で使用してください。

VIRTUAL STUDIO MODE (ON/OFF)

ON に設定すると、バーチャルスタジオ (AV-VS500) のブルーバックを基準にした色に、カメラの映像信号出力を切り替えます。

P/T SETTING (回転台設定) メニュー

PAN DIRECTION (NORMAL/REVERSE)

PAN/TILT レバーの操作で行う、回転台システムの水平方向の動作を切り替えます。

NORMAL に設定すると、PAN/TILT レバーを L 側へ倒したときに回転台システムが左方向に動作し、R 側へ倒したときに右方向に動作します。

REVERSE に設定すると、逆方向に動作します。

<ノート>

回転台に AW-PH300 を据え置き設置で使用する場合、通常は REVERSE に設定してください。

REVERSE に設定すると、PAN/TILT レバーを L 側へ倒したときに回転台システムが左方向に動作し、R 側へ倒したときに右方向に動作します。

NORMAL に設定すると、逆方向に動作します。

TILT DIRECTION (NORMAL/REVERSE)

PAN/TILT レバーの操作で行う、回転台システムの垂直方向の動作を切り替えます。

NORMAL に設定すると、PAN/TILT レバーを UP 側へ倒したときに回転台システムが上方向に動作し、DOWN 側へ倒したときに下方向に動作します。

REVERSE に設定すると、逆方向に動作します。

<ノート>

回転台に AW-PH300 を吊り下げ設置で使用する場合、通常は REVERSE に設定してください。

REVERSE に設定すると、PAN/TILT レバーを UP 側へ倒したときに回転台システムが上方向に動作し、DOWN 側へ倒したときに下方向に動作します。

NORMAL に設定すると、逆方向に動作します。

ZOOM DIRECTION (NORMAL/REVERSE)

ZOOM レバーの操作で行う、レンズのズーム動作を切り替えます。

NORMAL に設定すると、ZOOM レバーを TELE 側へ倒したときにズーム動作が望遠側に動作し、WIDE 側へ倒したときに広角側に動作します。

REVERSE に設定すると、逆方向に動作します。

FOCUS DIRECTION (NORMAL/REVERSE)

PAN/TILT レバーと ZOOM レバー上部のダイヤル操作で行う、レンズのフォーカス動作を切り替えます。

NORMAL に設定すると、ダイヤルを FAR 側へ回したときにフォーカス動作が遠距離側に動作し、NEAR 側へ回したときに近距離側に動作します。

REVERSE に設定すると、逆方向に動作します。

IRIS DIRECTION (NORMAL/REVERSE)

PAN/TILT レバーと ZOOM レバー上部のダイヤル操作で行う、レンズの絞り動作を切り替えます。

NORMAL に設定すると、ダイヤルを OPEN 側へ回したときに絞りが解放し、CLOSE 側へ回したときに閉じます。

REVERSE に設定すると、逆方向に動作します。

一部のレンズで、絞り動作が逆に動く場合がありますので、操作しやすい設定で使用してください。

SPEED SELECT (PAN)

(HIGH : SLOW/MID/FAST, LOW : SLOW/MID/FAST)

PAN/TILT レバーを操作して、回転台システムが水平方向に動作するスピードを切り替えます。

SPEED ボタンで切り替える HIGH と LOW それぞれのモードで、SLOW/MID/FAST に 3 段階で設定できます。

<ノート>

「SPEED WITH ZOOM POS.」を 1 または、2 に設定すると、SLOW/MID/FAST の切り替えができません。

SPEED SELECT (TILT)

(HIGH : SLOW/MID/FAST, LOW : SLOW/MID/FAST)

PAN/TILT レバーを操作して、回転台システムが垂直方向に動作するスピードを切り替えます。

SPEED ボタンで切り替える HIGH と LOW それぞれのモードで、SLOW/MID/FAST に 3 段階で設定できます。

<ノート>

「SPEED WITH ZOOM POS.」を 1 または、2 に設定すると、SLOW/MID/FAST の切り替えができません。

SPEED SELECT (ZOOM)

(HIGH : SLOW/MID/FAST, LOW : SLOW/MID/FAST)

ZOOM レバーを操作して、レンズがズーム動作を行うスピードを切り替えます。

SPEED ボタンで切り替える HIGH と LOW それぞれのモードで、SLOW/MID/FAST に 3 段階で設定できます。

SPEED SELECT (FOCUS)

(HIGH : SLOW/MID/FAST, LOW : SLOW/MID/FAST)

PAN/TILT レバーと ZOOM レバー上部のダイヤル操作で行う、レンズがフォーカス動作を行うスピードを切り替えます。

SPEED ボタンで切り替える HIGH と LOW それぞれのモードで、SLOW/MID/FAST に 3 段階で設定できます。

SPEED WITH ZOOM POS. (OFF、1、2)

1 または、2 に設定すると、レンズのズーム位置が広角のときに、回転台システムのパン/チルト動作を遅くし、パン/チルトの位置を合わせやすくします。

設定メニュー

DIAGONAL MOTION (ON/OFF)

OFF : 回転台システムが、最大速度でプリセットメモリー設定位置まで移動します。

ON : 回転台システムの動作速度を調整し、プリセットメモリー設定位置まで移動する軌跡が直線になるようにします。

ただし、回転台 AW-PH350 のリピータビリティが± 10' となり、静止精度が悪くます。

DIAGONAL SPEED (1 ~ 30)

DIAGONAL MOTION を ON に設定したときの動作速度を設定します。設定値を大きくすると、動作速度が速くなります。

DIAGONAL MOTION が OFF のときは、動作速度を設定できません。

<ノート>

DIAGONAL MOTION と DIAGONAL SPEED の項目は、回転台として AW-PH350 を使用しているときに表示します。

CAMERA SETTING (カメラ設定) メニュー

使用するカメラや回転台、また、装着するオプションカードにより、動作する項目が異なります。

詳細は、使用するカメラの取扱説明書をご参照ください。

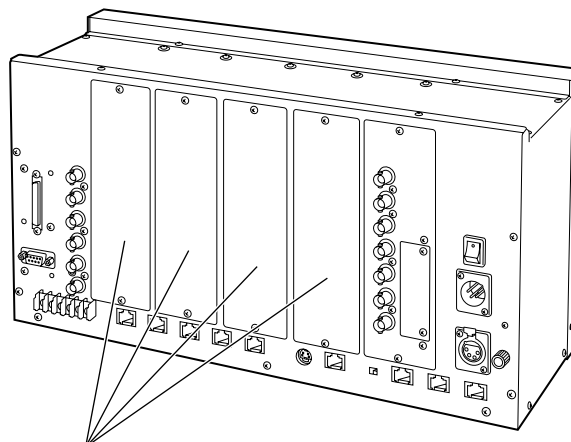
ビデオボードの増設

本機には、回転台システムを増設するスロットが4台分用意されています。

ビデオボードAW-PB605（別売品）を増設して、最大5台の回転台システムを制御することができます。

ビデオボードを増設するまえに、各機器の電源スイッチをOFFにし、電源コードをコンセントから抜いてください。

1. ネジ2本を外し、ブランクパネルを外します。
2. ガイドに合わせてビデオボードAW-PB605（別売品）を差し込みます。
最後まで、確実に差し込んでください。
3. ネジ2本で確実に取り付けます。



ビデオボード増設用
スロット

オプションカードの挿入

本機には、機能拡張用のオプションカード（別売品）を挿入するスロットが用意されています。

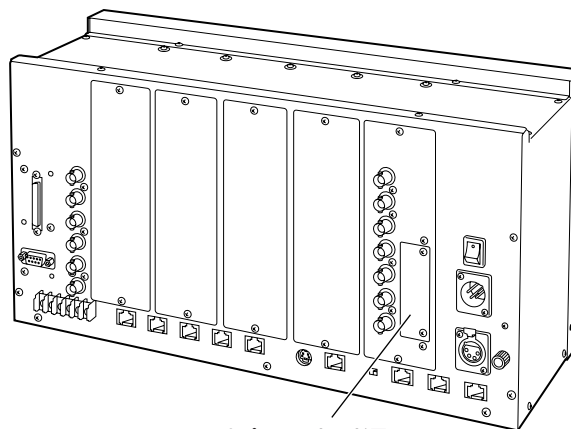
- RGB カード（AW-PB302）
- SDI カード（AW-PB304）
- Web カード（AW-PB309）

ビデオボードAW-PB605（別売品）にも、同様のカードを挿入することができます。

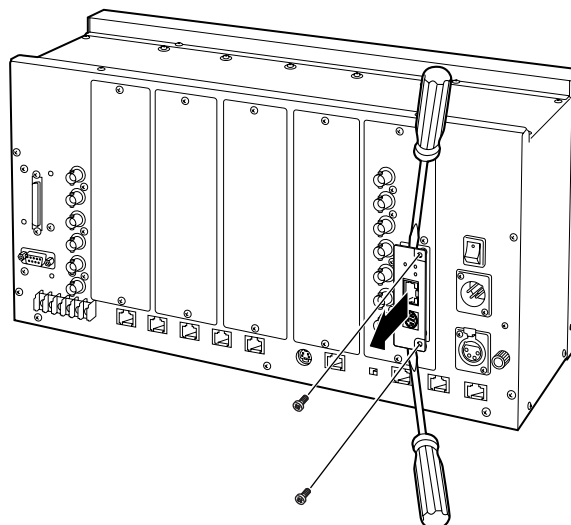
オプションカードを挿入するまえに、各機器の電源スイッチをOFFにし、電源コードをコンセントから抜いてください。

1. ネジ2本を外し、ブランクパネルを外します。
2. ガイドに合わせてオプションカードを差し込みます。
最後まで、確実に差し込んでください。
3. ネジ2本で確実に取り付けます。

オプションカードを外すときは、右図のようにマイナスドライバーなどを差し込んで、矢印の方向に引き出してから外してください。

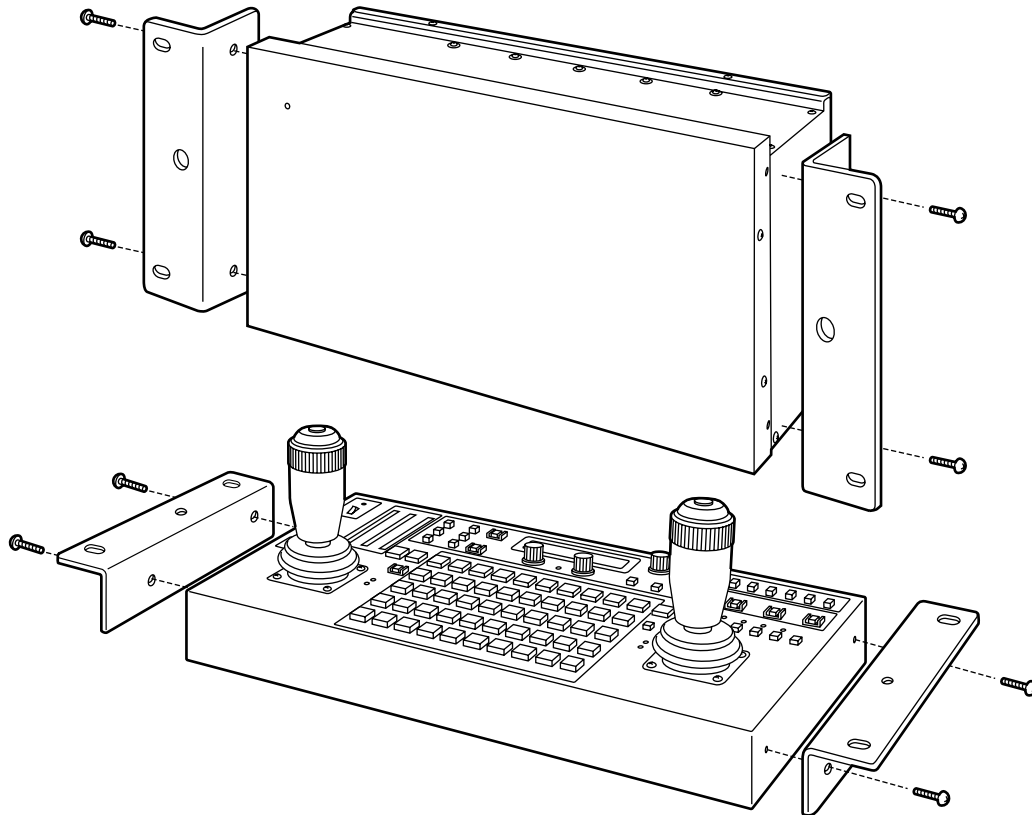


オプションカード用
スロット



ラックマウント金具の取り付け

本体をラックへ取り付けるときは、付属のラックマウント金具と取付ねじ（M4 × 8）を使用してください。



消耗品の交換

● 電池の交換

電池の寿命は、約 5 年です。5 年以内に定期的に交換してください。

本機のメインユニットには、メニュー設定やトレーシングメモリーなどの設定データが記憶されています。これらのデータは、電源を切っても保存されていますが、内蔵の電池が寿命となった場合、電源を切るとデータが失われます。

交換は、販売店に依頼してください。

● ジョイスティックの交換

ジョイスティックは、消耗品です。動作に支障がある場合は、交換してください。交換は、販売店に依頼してください。

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・
まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

■ 保証書 (別添付)

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、お受け取りください。

保証期間：お買い上げ日から 1 年間

■ 修理を依頼される時

まず接続ケーブルを抜いてから、お買い上げの販売店へご連絡ください。

● 保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

● 保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

ただし、補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 8 年です。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障箇所の修理及び部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

定格

【総合】

電源電圧：	DC10.8V ~ DC16V
消費電力：	14.0W

 は安全項目です。

動作周囲温度

- 10℃ ~ + 45℃

保存温度：

- 20℃ ~ + 60℃

動作周囲湿度

30 ~ 90% (結露無し)

重量

メインユニット : 5.6 kg

コントロールパネル : 3.4 kg

外形寸法 (幅×高さ×奥行)

メインユニット : 420 × 220 × 150 mm

コントロールパネル : 420 × 52 × 220 mm

対応回転台

AW-PH300、AW-PH300A、AW-PH350、
AW-PH500、AW-PH600

対応カメラ

AW-E300、AW-E300A、AW-E600、AW-E800A

【コントロールパネル】

■ 入力端子

DC12V IN

XLR、4ピン

SERVICE

メンテナンス用端子

■ 出力端子

CONTROL OUT TO MAIN UNIT

RJ45

接続ケーブル：

10BASE-T ストレートケーブル
(UTP カテゴリー 5)、最大 1000m

■ その他

TERMINATION スイッチ

メインユニットとの通信ラインの終端設定

ID スイッチ [1/2/3]

コントロールパネルの ID 設定

【メインユニット】

■ 入力端子

DC12V IN

XLR、4ピン

CONTROL IN TO CONTROL PANEL [1/2/3]

RJ45 × 3

接続ケーブル：

10BASE-T ストレートケーブル
(UTP カテゴリー 5)、最大 1000m
(複数台のコントロールパネルを接続しているときは、それぞれのケーブル長さの合計を 1000m までにしてください。)

INCOM

MINI DIN、6ピン

TALLY

端子台

G/L IN

BNC × 2、75 Ω 自動終端、ループスルー出力

AUX IN

BNC、75 Ω 終端

EXT/SERVICE

メンテナンス用端子

REMOTE

RS-232C

■ 出力端子

CONTROL PANEL POWER OUT

XLR、4ピン、コントロールパネル専用電源出力、
接続ケーブル：付属ケーブル

EXTERNAL CONTROL OUT

RJ45、拡張機能用端子

CONTROL OUT TO PAN/TILT HEAD

RJ45 × 5、回転台用制御信号出力

接続ケーブル：

10BASE-T ストレートケーブル
(UTP カテゴリー 5)、最大 1000m

PREVIEW MONITOR OUT [1/2/3]

BNC × 3、75 Ω 出力

接続ケーブル：

5C-2V、最大 10m

■ その他

TERMINATION スイッチ

コントロールパネルとの通信ラインの終端設定

【ビデオボード部】

■ 入力端子

VIDEO/Y IN、Pr IN、Pb IN

BNC × 3、75 Ω 終端、7.5% セットアップ

コンポジット：

Y = 100 IRE

SYNC = 40 IRE

バースト = 40 IRE

コンポーネント：

Y = 0.714 V

SYNC = 0.286 V

Pr/Pb = 0.700 V

■ 出力端子

G/L OUT

BNC、75 Ω 出力

接続ケーブル：

5C-2V、最大 1000m

VIDEO/Y OUT、Pr OUT、Pb OUT

BNC × 3、75 Ω 出力、7.5% セットアップ

コンポジット：

Y = 100 IRE

SYNC = 40 IRE

バースト = 40 IRE

コンポーネント：

Y = 0.714 V

SYNC = 0.286 V

Pr/Pb = 0.700 V

(ケーブル補償の調整が必要)

■ その他

OPTION カードスロット

対応カード：

AW-PB302、AW-PB304、AW-PB309

松下電器産業株式会社 ブロードメディア本部

☎ 224-8539 横浜市都筑区佐江戸町 600 番地 ☎ フリーダイヤル 0120-878-410